



蓮田市はすびい

蓮田市高齢者福祉 計画2024・ 第9期介護保険事業 計画 ＜進行管理調書＞

《令和6年度～令和8年度》

蓮田市
令和8年7月作成

令和 7 年度 高齢者福祉計画 3

基本目標 1 社会参加・生きがいづくり 3

施策 1 就労支援・人材活用の推進 3

施策 2 健康づくり・生きがい活動の推進 6

基本目標 2 地域福祉・地域づくり 16

施策 1 福祉教育の推進 16

施策 2 生活支援の推進 18

施策 3 高齢者の見守り・安全確保の推進 26

施策 4 高齢者の権利擁護の推進 39

基本目標 3 資源整備・環境づくり 42

施策 1 ボランティア体制の整備 42

施策 2 老人福祉施設の充実 44

施策 3 外出支援の推進 47

施策 4 福祉のまちづくりの推進 49

令和 7 年度 介護保険事業計画 52

第 1 節 介護保険事業の実績と見込み 52

第 2 節 地域支援事業の実績と見込み 65

第 4 節 介護保険制度の円滑な運営 94

令和7年度 高齢者福祉計画

基本目標 1 社会参加・生きがいづくり

施策 1 就労支援・人材活用の推進

事業名	① 就労機会の確保	担当	商工課
概要と現状	高齢期の生きがいを持てる生活の実現をめざすため、高齢者の就労機会の確保(就業関連パンフレットの窓口等への配置など)を図っています。また、ハローワークオンライン提供も実施しています。		
方向性	ハローワーク・県・関係機関と連携を取りながら就労支援に関する情報の提供に努めます。また、就労機会の確保を目的とし、就労支援セミナーを開催します。		

経過	令和5年度 (実績)	ハローワーク・県・関係機関と連携を取り、就労支援に関する情報を専用コーナー（1階正面玄関総合掲示板裏）に配架している。また、ハローワーク求人情報オンライン提供を運営している。県（セカンドキャリアセンター）と共催で、高齢者向けの合同企業面接会を開催した。
	令和6年度 (実績)	ハローワーク・県・関係機関と連携を取り、就労支援に関する情報を専用コーナー（1階正面玄関総合掲示板裏）に配架している。また、ハローワーク求人情報オンライン提供を運営している。
	令和7年度 (実績)	ハローワーク・県・関係機関と連携しながら、就労支援に関する情報を専用コーナー（市役所1階ホール）に配架している。また、産業振興課窓口において、ハローワーク求人情報オンライン提供システムを運営している。県と共催で就職支援セミナーを開催した。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

事業名	② シルバー人材センター事業			担当	シルバー人材センター	
概要と現状	シルバー人材センターは、社会参加意欲のある健康な高齢者に対して、地域社会と連携しながら、その希望に応じた就業並びに社会奉仕等の活動機会を確保するとともに、生きがいの充実及び福祉の増進を図り、高齢者の知識、経験及び能力等を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的としています。 具体的な事業としては、構成員として登録した蓮田市に居住する 60 歳以上の会員に対する、臨時的かつ短期的な就業の紹介、社会奉仕活動等の機会の提供、就業に必要な講習の実施等です。 第8期計画期間中、会員数の増加を見込んでいましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大や定年延長の流れを受け、会員数が減少しました。また、全体に占める女性会員の割合が全国水準 30%に対して 25.6%と低くなっています。会員の平均年齢は 10 年前と比較し 3.7 歳高くなり 73.9 歳と、高齢化が確実に進行しています。女性会員や高齢会員の就業先の確保、会員の健康維持増進、安全就業の徹底が課題となっています。					
方向性	少子高齢化の進行により人口が減少する中で、社会の支え手としてシルバー人材センターの役割はますます重要となるため、従来の重点項目「会員増強及び就業機会の拡大」「安全・適正就業の徹底」「地域に根差したセンターづくり」に「持続的に成長可能な経営基盤づくり」を加えた4項目を重点課題として位置付け、安定した事業運営をめざします。なかでもICT化推進による業務の効率化、それによる経営基盤の強化は必須であると考えています。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
シルバー人材センター事業会員数(人)	500	488	490	504	506	508
シルバー人材センター事業就業延べ人数(人)	52,281	53,956	51,747	55,000	55,200	55,400

経過	令和5年度 (実績)	入会キャンペーン等の取り組みを行い、期末の会員数は前年度より2人増加した。 契約金額は前年度比 100.3%の 273,402 千円となった。
	令和6年度 (実績)	新型コロナウイルス感染症の影響で低迷していた契約金額がようやく回復し、コロナ禍前の水準に戻すことができた。また会員数も3年ぶりに500人を超え、特に女性会員の全体に占める割合は前年度より1.1ポイント上昇し26.8%になり、目標値の30%に近づいた。 1) 契約金額 283,581 千円 (前年比 103.7%) 2) 会員数 504 人 (前年比 14 人増) 3) 平均年齢 74.4 歳 (前年比 ±0)
	令和7年度 (実績)	会員の高齢化の進行による就業継続の難しさや、企業の定年延長や再雇用制度の定着等により、新規入会者の確保が難しい状況が続いている。そのような中、女性会員の獲得を目指し、行った取り組みの成果が表れ、女性会員は前年比 5 人増、女性会員比率 28.9% (前年比 2.1 ポイント増) となり、目標の 30.0% に近づいている。 1) 契約金額 279,944 千円 (前年比 98.7%) 2) 会員数 484 人 (前年比 20 人減) 3) 平均年齢 785.0 歳 (前年比 0.6 ポイント増)

現状の評価	番号	3	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
シルバー人材センター事業会員数(人)	504	484	
シルバー人材センター事業就業延べ人数(人)	50,813	49,654	

事業名	③ 人材バンクの活用			担当	社会教育課	
概要と現状	市民の学習活動及び公共機関が行う学習・教育事業を支援する生涯学習支援者の登録を行い、その活用を図ることで生涯学習を推進しています。 人材バンク制度の周知と活用を図って実施している『“学びま専科”1日講座』については、実施方法を見直したことで活用件数が増加し、また新規登録者を得ることができました。活動を希望する生涯学習支援者に、活躍の場をより一層提供していくことが今後の課題です。					
方向性	人材バンク制度の活用を図るため、周知方法の検討を図ります。また、公共機関が開催する講座等に、人材バンク登録者を積極的に登用することで、高齢者の社会参加を促します。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
人材バンク事業登録者の活用実績件数(件)	23	32	34	26	27	28

経過	令和5年度(実績)	人材バンク制度の活用とPRを目的として、“学びま専科”1日講座を実施した。 開催時期・会場を分散して合計25講座開講し、参加者延べ人数は273人だった。
	令和6年度(実績)	人材バンク制度の活用とPRを目的として、“学びま専科”1日講座を実施した。開催時期・会場を分散して合計20講座開講し、参加者延べ人数は228人だった。 上記のほか、活用報告書の提出が1件、社会教育施設における講座での活用が11件あり、合計32件の活用があった。
	令和7年度(実績)	人材バンク制度の活用とPRを目的として、“学びま専科”1日講座及び“学びま専科子ども体験講座”を実施した。合計24講座開講し、参加者延べ人数は273人だった。 上記のほか、社会教育施設における講座での活用が12件あり、合計36件の活用があった。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
人材バンク事業登録者の活用実績件数(件)	32	36	

施策2 健康づくり・生きがい活動の推進

事業名	① 老人クラブ			担当	長寿支援課	
概要と現状	高齢者の主体的な活動を通じて、高齢期の健康で生きがいの持てる生活の実現をめざしています。高齢者人口が増加する一方、老人クラブ会員数は減少傾向にあり、これに伴いクラブ役員の担い手も減少しているのが現状です。会員数の増加が、活動を継続する上で重要となっています。					
方向性	「友愛・健康」を目的に老人クラブの健全な発展と福祉の増進を図り、地域のスポーツ振興・教養の向上・社会奉仕等の身近な仲間と支え合いながら実施する活動が、より一層活性化されるよう支援、推進に努めます。 また、活動状況の周知に努め、多くの皆さんがクラブ活動に参加されるよう推進し、会員の増強を図るとともに、新規クラブの設立を支援します。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
老人クラブ クラブ数(クラブ)	26	24	21	21	21	21
老人クラブ 会員数(人)	1,152	1,022	880	880	880	880

経過	令和5年度 (実績)	老人クラブに補助金説明会を実施し、報告書（収支決算・事業報告・収支予算・事業計画）と名簿の提出を求め、補助金を交付し、活動内容を検討した。検討した結果、コロナ禍では吹矢大会を中止にしたり、寿大学の回数を3回に縮小していたが、吹矢大会をスポーツワナゲ大会に替えて開催したり、寿大学の開催回数をコロナ禍前の6回に戻し、開催したりすることができた。また、グラウンドゴルフ大会を年2回開催した。
	令和6年度 (実績)	老人クラブに補助金説明会を実施し、報告書（収支決算・事業報告・収支予算・事業計画）と名簿の提出を求め、補助金を交付し、活動内容を検討した。検討した結果、グラウンドゴルフ大会を年2回、スポーツワナゲ大会を年2回、趣味の作品展、寿大学を年6回開催した。寿大学は、広報はすだ等で一般公募し、講義の中に老人クラブの活動発表やグループワークを交え、老人クラブ会員増強に向けて取り組んだ。
	令和7年度 (実績)	老人クラブに補助金説明会を実施し、報告書（収支決算・事業報告・収支予算・事業計画）と名簿の提出を求め、補助金を交付した。グラウンドゴルフ大会を年2回、スポーツワナゲ大会を年2回、趣味の作品展、寿大学を年6回開催した。寿大学は、広報はすだ等で一般公募し、講義の中に老人クラブの活動発表やグループワークを交え、老人クラブ会員増強に向けて取り組んだ。また、会長情報交換を開催したり、県老人クラブ大会に参加した。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
老人クラブ数(クラブ)	18	17	
老人クラブ会員数(人)	771	723	

事業名	② 高齢者の健康づくり	担当	健康増進課
概要と現状	高齢者の健康を増進するための事業を展開し、健康寿命の延伸を図っています。		
方向性	生活習慣病等の早期発見、早期治療のため、特定健康診査、後期高齢者健康診査及び各種がん検診を実施し、受診率の向上に努めます。 特定健康診査結果においては、生活習慣病の発症のリスクが高い方を対象に特定保健指導を実施するとともに、医療受診が必要な方に対しては、電話や訪問等で医療受診勧奨を行っていきます。 インフルエンザ・肺炎球菌予防接種等について周知していきます。 健康に不安や悩みを持つ方が、気軽に相談できる場所として、成人健康相談、こころの健康相談等を実施していきます。 さらに、電話相談等を随時実施し、対面以外の相談体制についても強化していきます。		

経過	令和 5 年度 (実績)	健康診査、がん検診および予防接種については、医師会等に委託し実施した。定例健康相談や電話等での健康相談を実施した。
	令和 6 年度 (実績)	健康診査、がん検診および予防接種については、医師会等に委託し実施した。定例健康相談や電話等での健康相談を実施した。
	令和 7 年度 (実績)	健康診査、がん検診および予防接種については、医師会等に委託し、個別医療機関や集団検診で実施した。成人健康相談は 7 回実施した。こころの健康相談は 4 回実施した。また電話相談を随時実施した。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

事業名	③ 生涯学習の推進			担当	長寿支援課・ 社会教育課		
概要と 現状	生涯学習の機会を提供することで、生きがいの持てる生活の実現を支援しています。						
方向性	高齢者のニーズに対応できるような学習機会の提供を積極的に行います。 また、『寿大学』については、高齢者の興味関心が高い文化的教養講座のほか、高齢者の生活に密着した問題や高齢者に共通する社会問題を学習テーマに取り入れ、今後も継続して開催します。						
指標 (長寿支援課) 寿大学講座		実績値			計画値		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
開催件数(件)		0	3	6	6	6	6
(社会教育課) 生涯学習講座		実績値			計画値		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
“学びま専科”1日 講座 開催講座数(種類)		22	25	25	28	28	28
歴史講座 開催回数(回)		7	9	8	11	11	11
市民大学 開催回数(回)		15	21	14	20	20	20
文学・文化講演会 開催回数(回)		0	3	3	2	2	2

経過	令和5年度 (実績)	コロナ禍で全3回だった講義を全6回に戻し、老人クラブ連合会と蓮田市の共催で寿大学を開校した。高齢者の関心のあるテーマについて講義を行い、学習機会を提供した。また他クラブの会員との親睦も図ることができた。次年度以降は、令和5年度のアンケート結果をもとに、高齢者が関心のあるテーマについて講義を行う予定。(長寿支援課) 中央公民館では、市民大学・市民ボランティア学芸員養成講座連携事業「蓮田郷土学講座」(計4回)、同事業「蓮田環境学講座」(計4回)、市民大学・健康講座「リラックスヨガ入門」、「年齢不問のピラティス入門」、「太極拳入門」(計6回)を開催した。(社会教育課)
	令和6年度 (実績)	老人クラブ連合会と蓮田市の共催で寿大学を全6回開催した。高齢者の関心のあるテーマについて講義を行い、学習機会を提供した。広報はすだ等で一般公募し、老人クラブ会員25人以上に一般公募により25人が受講し、老人クラブの活動発表やグループワークを交え、老人クラブ会員増強に向けて取り組んだ。実施後のアンケートでは良い評価をいただいております、次年度以降もアンケート結果をもとに、高齢者が関心のあるテーマについて講義を行う予定。(長寿支援課) 中央公民館では、市民大学・健康講座において、①「太極拳入門」(3回)、②「フラダンス入門」(3回)、③「リラックスヨガ入門」(3回)、④「ピラティス入門」(3回)の計12回を開催した。(社会教育課)
	令和7年度 (実績)	老人クラブ連合会と蓮田市の共催で寿大学を全6回開催した。高齢者の関心のあるテーマについて講義を行い、学習機会を提供した。広報はすだ等で一般公募し、老人クラブ会員以外のかたも受講し、老人クラブの活動発表やグループワークを交え、老人クラブ会員増強に向けて取り組んだ。実施後のアンケートでは良い評価をいただいております、次年度以降もアンケート結果をもとに、高齢者が関心のあるテーマについて講義を行う予定。(長寿支援課) 中央公民館では、市民大学・健康講座において、①「太極拳入門」(3回)、②「フラダンス入門」(3回)、③「リラックスヨガ入門」(3回)、④「ピラティス入門」(2回)、⑤「パドル棒体操入門」(3回)の計14回を開催した。(社会教育課)

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

【長寿支援課】

指標 (長寿支援課)寿大学講座	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
開催件数(件)	6	6	

【社会教育課】

(社会教育課) 生涯学習講座	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
“学びま専科”1日講座 開催講座数(種類)	20	24	
歴史講座 開催回数(回)	2	1	
市民大学 開催回数(回)	12	14	
文学・文化講演会 開催回数(回)	6	2	

事業名	④ 敬老祝金			担当	長寿支援課	
概要と現状	長寿を祝い、長年の労をねぎらうことを目的として、一定の年齢になった高齢者を対象に敬老祝金を贈呈しています。					
方向性	敬老の祝意を表するとともに、高齢者にとっての生きがいのひとつとなるよう、今後も継続して事業に取り組んでいきます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
敬老祝金 対象者数(人)	1,528	1,289	1,282	1,700	1,700	1,600

経過	令和5年度 (実績)	敬老祝金贈呈者の内訳は、77歳(658人)・88歳(361人)・90歳(246人)・100歳(17人)。引き続き、原則振り込みとし、約99%が振込による贈呈となった。また、連絡が取れない方については、職員が訪問したり、民生委員に生活の様子を伺うなどして、辞退の方を除くほぼ全ての方に贈呈することができた。
	令和6年度 (実績)	敬老祝金贈呈者の内訳は、77歳(1,097人)・88歳(366人)・90歳(244人)・100歳(15人)。引き続き、原則振り込みとし、約99%が振込による贈呈となった。また、連絡が取れない方については、職員が訪問したり、民生委員に生活の様子を伺うなどして、辞退の方を除くほぼ全ての方に贈呈することができた。
	令和7年度 (実績)	敬老祝金贈呈者の内訳は、77歳(1,076人)・88歳(359人)・90歳(286人)・100歳(15人)。引き続き、原則振り込みとし、約99%が振込による贈呈となった。また、連絡が取れない方については、職員が訪問したり、民生委員に生活の様子を伺うなどして、辞退の方を除くほぼ全ての方に贈呈することができた。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
敬老祝金対象者数(人)	1,722	1,777	

事業名	⑤ 敬老祝品贈呈事業	担当	長寿支援課
概要と現状	高齢者の敬老と長寿を祝福し、高齢者に対して祝品を贈呈するとともに、高齢者の生活状況の見守りを行っています。		
方向性	地域での見守りの視点を踏まえ、民生委員の訪問による贈呈を行っています。今後も継続して、事業に取り組んでいきます。		

経過	令和５年度 (実績)	地域敬老会の終了を受け、令和５年度から、８８歳以上の高齢者に祝品を贈呈する「敬老祝品贈呈事業」を開始した。民生委員が８８歳以上の高齢者宅を訪問し、祝品を手渡しいただくことで、高齢者の長寿のお祝いに加え、民生委員との交流や、地域の見守りにつながった。
	令和６年度 (実績)	民生委員が８８歳以上の高齢者宅を訪問し、祝品を手渡しいただくことで、高齢者の長寿のお祝いに加え、民生委員との交流や、地域の見守りにつながった。民生委員不在地区がいくつかあり、協力いただけない地域がある、対象者が施設入所等により不在なことが多い等の課題がある。
	令和７年度 (実績)	民生委員が８８歳以上の高齢者宅を訪問し、祝品を手渡しいただくことで、高齢者の長寿のお祝いに加え、民生委員との交流や、地域の見守りにつながった。民生委員不在地区がいくつかあり、協力いただけない地域がある、対象者が施設入所等により不在なことが多い等の課題がある。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

事業名	⑥ 世代間交流(小・中学校)			担当	学校教育課	
概要と現状	学校応援団の方や地域の高齢者の方に、小学校で竹とんぼ作りやこま回し等の昔の遊びを教えていただくなど、交流を図ることで地域に開かれた教育課程の実現を推進していきます。					
方向性	ポスト・コロナにおける学校教育に向け、世代間交流の意義を再確認するとともに、通常通りの実施に向けて検討していきます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実施した学校数(校)	0	8	13	13	13	13

経過	令和5年度 (実績)	学校応援団の方や地域の高齢者の方に、竹とんぼ作りやこま回し等の昔の遊びを教えていただき交流を図った。運動会への招待は、新型コロナウイルス感染症が5類になったため、制限を設けず実施した。
	令和6年度 (実績)	学校応援団の方や地域の高齢者の方に、竹とんぼ作りやこま回し等の昔の遊びを教えていただき、交流を図った。運動会や学校行事への招待は、全小中学校で実施することができた。
	令和7年度 (実績)	学校応援団の方や地域の高齢者の方に、竹とんぼ作りやこま回し等の昔の遊びを教えていただき、交流を図った。運動会や学校行事への招待は、全小中学校で実施することができた。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実施した学校数(校)	13	13	

事業名	⑦ 世代間交流(保育園等)			担当	保育課	
概要と現状	保育園や児童センター、子育て支援センター等の季節行事に、祖父母や地域の高齢者を招いて園児との交流を図るなど、地域での世代間交流機会を積極的に設けて実施しています。					
方向性	保育園や児童センター、子育て支援センター等において、現在実施している世代間交流事業を継続していきます。また、交流事業の内容についても、より多くの高齢者が参加できるよう工夫をしていきます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
交流事業開催回数 保育園(回)	0	11	13	32	32	32
交流事業開催回数 児童センター(回)	0	1	1	4	4	4
交流事業開催回数 子育て支援センター等(回)	0	3	2	11	11	11

経過	令和5年度 (実績)	保育園、児童センター、子育て支援センターにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、世代間交流事業は実施を見合わせた。
	令和6年度 (実績)	保育園、児童センター、子育て支援センターにおいて、世代間交流事業を実施した。
	令和7年度 (実績)	保育園、児童センター、子育て支援センターにおいて、世代間交流事業を実施した。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
交流事業開催回数 保育園(回)	17	118	
交流事業開催回数 児童センター(回)	2	12	
交流事業開催回数 子育て支援センター等(回)	1	11	

事業名	⑧ ふれあい・いきいきサロン事業			担当	社会福祉協議会	
概要と現状	地域で暮らす高齢者と地域の方々が協力し、自宅から歩いて行ける誰もが無理なく気兼ねなく参加できる「みんなでふれあい、いきいきと楽しむ集いの場」です。民生委員や自治会など地域の方によって運営されています。また、各地域のサロン間で情報共有できるようサロン連絡会を開催しています。					
方向性	サロン連絡会等を活用しサロン間の情報共有、サロンの内容充実に取り組んでいきます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
ふれあい・いきいきサロン事業実施数(か所)	34	34	37	38	39	40
ふれあい・いきいきサロン事業延べ実施回数(回)	1,232	1,879	2,063	2,268	2,292	2,316
ふれあい・いきいきサロン事業延べ利用者数(人)	13,171	20,980	24,860	22,680	22,920	23,160

経過	令和5年度 (実績)	・36か所のサロン（登録数は38か所）に、サロン活動の充実を図るため運営費を助成した。 ・サロン間の情報交換等を目的に連絡会を開催した。 備考 ・連絡会は10月と2月に開催し、サロンで活用できるレクリエーション活動等の紹介を実施した。 ・定期的に職員がサロンを訪問し、実施状況を見学した。
	令和6年度 (実績)	・36か所のサロン（登録数は38か所）に、サロン活動の充実を図るため運営費を助成した。 ・サロン間の情報交換等を目的に連絡会を開催した。 備考 ・連絡会は10月と2月に開催し、サロンで活用できるレクリエーション活動等の紹介を実施した。 ・定期的に職員がサロンを訪問し、実施状況を見学した。
	令和7年度 (実績)	・36か所のサロン（登録数は37か所）に、サロン活動の充実を図るため運営費を助成した。 ・サロン間の情報交換等を目的に連絡会を開催した。 備考 ・連絡会は10月と2月に開催し、サロンで活用できるレクリエーション活動等の紹介を実施した。 ・定期的に職員がサロンを訪問し、実施状況を確認した。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
ふれあい・いきいきサロン事業 実施数(か所)	38	37	
ふれあい・いきいきサロン事業 延べ実施回数(回)	1,925	2,021	
ふれあい・いきいきサロン事業 延べ利用者数(人)	25,414	26,725	

事業名	⑨ スポーツ教室			担当	文化スポーツ課	
概要と現状	高齢者へのスポーツの普及と体力の向上を目的として、各種スポーツ教室を開催しています。					
方向性	スポーツ教室を継続して実施し、高齢者へのスポーツの普及と体力の向上を促します。 また、より多くの高齢者が参加できるように努めます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
スポーツ教室 開催回数(回)	5	12	13	15	15	15
スポーツ教室 延べ参加者数(人)	52	141	196	200	200	200

経過	令和5年度 (実績)	5月から2月にかけて月に数回程度、総合市民体育館内にて市スポーツ推進委員と共にスポーツ教室（体操教室、さいかつぼーる体験教室、ボッチャ教室、モルック教室、ハイキング教室、ウォーキング教室）を開催した。
	令和6年度 (実績)	市スポーツ推進委員と共にスポーツ教室（体操教室、さいかつぼーる体験教室、ハイキング教室等）を開催した。また、年間を通じ「出前教室」を開催。自治会や地域サロンから依頼を頂き、主にモルックやボッチャを実施した。
	令和7年度 (実績)	市スポーツ推進委員と共にスポーツ教室（体操教室、さいかつぼーる体験教室、ノルディックウォーク教室等）を開催した。また、年間を通じ「出前教室」を開催。自治会や地域サロンから依頼を頂き、主にモルックやボッチャを実施した。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
スポーツ教室 開催回数(回)	16	15	
スポーツ教室 延べ参加者数(人)	270	174	

基本目標 2 地域福祉・地域づくり

施策 1 福祉教育の推進

事業名	① 福祉の理解促進・啓発			担当	学校教育課・ 社会福祉協議会	
概要と 現状	学校教育課では、総合の時間を利用した福祉教育を実施しています。 社会福祉協議会では、福祉教育の支援や関係機関との連携により市民の福祉への理 解促進と啓発(情報提供)を図っています。					
方向性	学校教育課では、支援籍学習の再開を検討するとともに、総合の時間を利用した福 祉教育を充実させます。 社会福祉協議会では、福祉教育の必要性等の周知を継続するとともに、市内小中學校・高等学校や教育委員会、市内社会福祉法人、ボランティア団体等と連携し福祉教育 の充実に努めます。福祉の情報提供や啓発活動として、社協だより、ボランティアセン ターだよりの内容の充実を図ります。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
教育と福祉の連携 社会福祉協議会に よる講師派遣校 (校)小学校	8	8	8	8	8	8
教育と福祉の連携 社会福祉協議会に よる講師派遣校 (校)中学校	3	5	5	5	5	5

経過	令和5年度 (実績)	蓮田特別支援学校や県立はるかぜ特別支援学校との支援籍学習は、該当者の希望を受けて、各学校の実態に応じて実施することができた。また、総合の時間を利用し、福祉教育として高齢者疑似体験・アイマスク体験・車椅子体験等を行った。(学校教育課) ・小中学校が実施する福祉教育に対して市内の社会福祉法人やボランティアグループの協力を得ながら支援を行った。 ・福祉体験学習の周知と理解を深めるためボランティアグループや福祉団体、担当教職員、市教育委員会による情報交換会を実施した。 ・福祉教育体験学習を継続且つ安定的に提供できるよう、福祉教育ボランティア研修会及び連絡会を開催した。(社会福祉協議会)
	令和6年度 (実績)	蓮田特別支援学校や県立岩槻はるかぜ特別支援学校との支援籍学習は、該当者の希望を受けて、各学校の実態に応じて実施することができた。また、総合的な学習の時間を利用し、福祉教育として高齢者疑似体験・アイマスク体験・車椅子体験、地域福祉の学習、特別支援学校との交流等を行った。(学校教育課) ・小中学校が実施する福祉教育に対して市内の社会福祉法人やボランティアグループの協力を得ながら支援を行った。 ・福祉体験学習の周知と理解を深めるためボランティアグループや福祉団体、担当教職員、市教育委員会による情報交換会を実施した。 ・福祉教育体験学習を継続且つ安定的に提供できるよう、福祉教育ボランティア研修会及び連絡会を開催した。 ・学校でのSDGsなど多様な取り組みの影響もあり、中学校の派遣校数は減少した。(社会福祉協議会)
	令和7年度 (実績)	蓮田特別支援学校や県立岩槻はるかぜ特別支援学校との支援籍学習は、該当者の希望を受けて、各学校の実態に応じて実施することができた。また、総合的な学習の時間を利用し、福祉教育として高齢者疑似体験・アイマスク体験・車椅子体験、地域福祉の学習、特別支援学校との交流等を行った。(学校教育課) ・小中学校が実施する福祉教育に対して市内の社会福祉法人やボランティアグループの協力を得ながら支援を行った。 ・福祉体験学習の周知と理解を深めるためボランティアグループや福祉団体、担当教職員、市教育委員会による情報交換会を実施した。 ・福祉教育体験学習を継続且つ安定的に提供できるよう、福祉教育ボランティア研修会及び連絡会を開催した。 ・校長会での周知等を実施したため、派遣校数が増加した。(社会福祉協議会)

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

【社会福祉協議会】

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
教育と福祉の連携 社会福祉協議会による講師派遣 校(校)小学校	8	10	
教育と福祉の連携 社会福祉協議会による講師派遣 校(校)中学校	2	3	

施策２ 生活支援の推進

事業名	① 日常生活用具給付等事業			担当	長寿支援課	
概要と現状	非課税かつひとり暮らし等の高齢者を対象として、日常生活の利便性向上を図るため、日常生活用具を給付(電磁調理器・火災警報器・自動消火器)又は貸与(高齢者福祉電話)しています。					
方向性	引き続き、当該高齢者の日常生活上の便宜を図るため、本事業の周知に努めるとともに事業の推進を図ります。 また、給付用具の品目について実効性のあるものを検討します。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
日常生活用具給付等事業 延べ利用者数(人)	0	0	1	2	2	2

経過	令和5年度 (実績)	介護支援専門員の案内により、電磁調理器の給付が1件あり、ひとり暮らし等の高齢者の日常生活の利便向上を図ることができた。
	令和6年度 (実績)	民生委員や介護支援専門員の会議で高齢者福祉サービスのガイドブックを配布し、周知に努めた。当該年度は利用申請はなかった。
	令和7年度 (実績)	民生委員や介護支援専門員の会議で高齢者福祉サービスのガイドブックを配布し、周知に努めた。当該年度は利用申請はなかった。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
日常生活用具給付等事業 延べ利用者数(人)	0	0	

事業名	② 福祉家事援助サービス			担当	シルバー人材センター	
概要と現状	高齢者等に対し日常の家事全般のサービスを提供するほか、話し相手等のサービスも行っています。					
方向性	高齢者世帯の増加に伴い需要の増加が想定されるため、当該サービスに携わる会員の確保を図るとともに、サービスの質の向上に努めます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
福祉家事援助サービス利用者数(人)	27	26	21	30	30	30
福祉家事援助サービス延べ利用回数(回)	848	880	876	900	900	900

経過	令和5年度 (実績)	【主な利用内容】 屋内清掃、洗濯、調理、話し相手
	令和6年度 (実績)	【主な利用内容】 屋内清掃、調理
	令和7年度 (実績)	【主な利用内容】 屋内清掃、調理

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
福祉家事援助サービス利用者数(人)	21	21	
福祉家事援助サービス延べ利用回数(回)	825	744	

事業名	③ はすだ地域支えあいサービス事業			担当	社会福祉協議会	
概要と現状	日常生活のちょっとした困りごとのお手伝いを必要としている高齢者のみの世帯等に、社会福祉協議会に登録した協力者(協协会会员)がサービスを提供しています。					
方向性	サービスが多様化していく中、高齢者の自立支援に寄与するサービスをめざします。協协会会员の確保とサービスの向上に努めるとともに、事業の内容について検討します。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
はすだ地域支えあいサービス 利用会員数(人)	71	59	64	80	83	86
はすだ地域支えあいサービス 協协会会员数(人)	37	37	30	41	43	45
はすだ地域支えあいサービス 延べ派遣回数(回)	216	262	335	305	310	315

経過	令和5年度 (実績)	・掃除や買い物等のサービスを提供して、日常生活支援を実施した。 ・活動の対価として「蓮田市内共通お買物券」を活用し地域経済の活性化に努めた。 ・協协会会员の情報共有の場として連絡会を6月、10月、1月の3回開催し、サービスの維持、向上に努めた。
	令和6年度 (実績)	・掃除や買い物等のサービスを提供して、日常生活支援を実施した。 ・活動の対価として「蓮田市内共通お買物券」を活用し地域経済の活性化に努めた。 ・協协会会员の情報共有の場として連絡会を6月、10月、1月の3回開催し、サービスの維持、向上に努めた。
	令和7年度 (実績)	・掃除や買い物等のサービスを提供して、日常生活支援を実施した。 ・活動の対価として「蓮田市内共通お買物券」を活用し地域経済の活性化に努めた。 ・協协会会员の情報共有の場として連絡会を6月、1月の2回開催し、サービスの維持、向上に努めた。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
はすだ地域支えあいサービス 利用会員数(人)	58	56	
はすだ地域支えあいサービス 協协会会员数(人)	30	37	
はすだ地域支えあいサービス 延べ派遣回数(回)	318	274	

事業名	④ 紙おむつ支給事業			担当	社会福祉協議会	
概要と現状	在宅で重度の要介護者や障がい児者がいる世帯に対し、紙おむつを支給することにより、本人及び介護者の精神的、経済的負担を軽減し、自宅での介護を支援します。					
方向性	安定した事業運営のため、関係機関等の意見を聞きながら、引き続き事業の改善に努めます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
紙おむつ支給事業 利用実人数(人)	198	218	210	210	215	220
紙おむつ支給事業 延べ支給枚数(枚)	80,784	89,254	82,562	91,100	93,300	95,500

経過	令和5年度 (実績)	社協会員世帯で在宅高齢者及び障がい者（児）に対して紙おむつを支給することにより、本人及び介護者の精神的、経済的負担を軽減し、在宅での介護を支援した。
	令和6年度 (実績)	社協会員世帯で在宅高齢者及び障がい者（児）に対して紙おむつを支給することにより、本人及び介護者の精神的、経済的負担を軽減し、在宅での介護を支援した。
	令和7年度 (実績)	実施内容は前年度同様。紙おむつの価格が高騰するなか事業を継続するため、対象要件と配付内容の見直しを行った。令和8年度から変更する。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
紙おむつ支給事業利用実人数(人)	224	222	
紙おむつ支給事業延べ支給枚数(枚)	91,406	92,440	

事業名	⑤ 車いす短期貸出しサービス			担当	長寿支援課・ 社会福祉協議会	
概要と 現状	高齢者や障がい者、けが人等の日常生活の利便を図るため、短期の車いすの貸出しを行っています。					
方向性	車いす短期貸出しサービスを広く知っていただくため、広報紙、社協だより、パンフレットなどを活用し周知を図ります。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
車いす短期貸出し サービス 延べ利用者数(人) 長寿支援課分	1,225	977	920	1,000	1,025	1,050
車いす短期貸出し サービス 延べ利用者数(人) 社会福祉協議会分	573	534	478	850	850	850

経過	令和5年度 (実績)	高齢者や障がいのある方等の日常生活の利便を図った。貸出可能台数は10台。(長寿支援課) 社協だよりやホームページ等を活用し、車いすの使用を必要とする方への周知に努めた。(社会福祉協議会)
	令和6年度 (実績)	高齢者や障がいのある方等の日常生活の利便を図った。貸出可能台数は10台。(長寿支援課) 社協だよりやホームページ等を活用し、車いすの使用を必要とする方への周知に努めた。(社会福祉協議会)
	令和7年度 (実績)	高齢者や障がいのある方等の日常生活の利便を図った。貸出可能台数は10台。(長寿支援課) 社協だよりやホームページ等を活用し、車いすの使用を必要とする方への周知に努めた。(社会福祉協議会)

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

【長寿支援課】

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
車いす短期貸出しサービス延べ利用者数(人) 長寿支援課分	857	977	

【社会福祉協議会】

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
車いす短期貸出しサービス延べ利用者数(人) 社会福祉協議会分	558	724	

事業名	⑥ 地域福祉の集いの開催			担当	社会福祉協議会	
概要と現状	介護やボランティアなど地域の福祉に関する理解を深めるため、地域福祉の集い事業を実施しています。					
方向性	在宅介護者を含む幅広い層の地域住民に対し、地域福祉への理解を深めるための集いを企画します。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
地域福祉の集い実施回数(回)	0	0	1	1	1	1
地域福祉の集い参加者数(人)	0	0	48	50	50	50

※令和4年度までは「在宅介護者の集い」として開催。

経過	令和5年度 (実績)	在宅介護者を含む幅広い地域住民に対し、介護等に関する情報発信や意見交換等を行い、地域福祉への理解を深めるため、地域福祉の集いとして事業を行った。
	令和6年度 (実績)	在宅介護者を含む幅広い地域住民に対し、成年後見制度に関する情報発信や意見交換等を行い、地域福祉への理解を深めるため、地域福祉の集いとして事業を行った。
	令和7年度 (実績)	地域住民に対し、障害の有無や年齢、性別、国籍等を問わず、全ての人が分け隔てなくスポーツを楽しみ、互いを理解・尊重しながら共生するきっかけづくりとなる機会を提供し、理解促進を図るため、地域福祉の集いを開催した。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
地域福祉の集い実施回数(回)	1	1	
地域福祉の集い参加者数(人)	50	14	

事業名	⑦ ねたきり老人等介護者手当			担当	長寿支援課	
概要と現状	介護者の慰労を目的に、在宅のねたきり又は重度の認知症の状態にある高齢者を6か月以上継続して同居のうえ介護している方に、月額6,000円の「ねたきり老人等介護者手当」を支給しています。					
方向性	在宅での介護者への慰労については、手当という形で介護者への支給を行っています。今後も、介護者の身体的、精神的及び経済的な負担を軽減し、介護意欲の向上に努めていきます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
ねたきり老人等介護者手当 延べ月数(か月)	253	301	319	250	250	250
ねたきり老人等介護者手当 登録者数(人)	34	36	35	37	37	37

経過	令和5年度 (実績)	月額6,000円の手当を4月・8月・12月の4か月ごとに35名の介護者に支給した。
	令和6年度 (実績)	月額6,000円の手当を4月・8月・12月の4か月ごとに30名の介護者に支給した。
	令和7年度 (実績)	月額6,000円の手当を4月・8月・12月の4か月ごとに28名の介護者に支給した。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
ねたきり老人等介護者手当 延べ月数(か月)	257	230	
ねたきり老人等介護者手当 登録者数(人)	30	28	

事業名	⑧ 介護マーク貸出事業	担当	長寿支援課
概要と現状	認知症高齢者等の介護など、外見からは介護が必要な状況が分かりにくく、周囲から誤解や偏見を受けることがあります。この事業では、「介護中」と書かれたストラップ付きの介護マークを貸し出し、介護者が介護マークを首から下げて周囲に知らせることで、誤解や偏見を受けることなく安心して介護をすることができる環境整備を図ります。		
方向性	介護マークの貸し出しを継続することにより、介護の相談を受ける機会とし、介護者の負担軽減を図るとともに、介護する者を温かく見守り、支え合う地域づくりに努めます。また、多くの方に介護マークを知っていただけるように周知に努めます。		

経過	令和５年度 (実績)	令和５年度の新規利用申請は２件であり、平成２８年度の事業開始からの継続利用者は１５人となった。
	令和６年度 (実績)	令和６年度の新規利用申請は０件であり、平成２８年度の事業開始からの継続利用者は１５人。
	令和７年度 (実績)	令和７年度の新規利用申請は３件であり、平成２８年度の事業開始からの継続利用者は１７人。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

施策3 高齢者の見守り・安全確保の推進

事業名	① 緊急通報システム事業			担当	長寿支援課	
概要と現状	慢性疾患等があり常時注意を要するひとり暮らし等の高齢者を対象に、固定型・携帯型の緊急通報装置(固定型の場合はペンダント型リモコン装置を含む)を貸与(設置)し、急病などの緊急時には通報装置のボタン・ストラップの操作により受信センターに通報が届き、専門スタッフが状況に応じて、救急車の手配や緊急連絡先として登録された親族への連絡などの対応をしています。					
方向性	高齢者人口の増加と世帯形態の変化により、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加していることから、日常生活の安全確保を図るため、引き続き事業を実施します。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
システム設置台数(台)	294	267	244	250	250	250

経過	令和5年度(実績)	固定型244台、携帯型0台。設置台数は、施設入所などの理由で減少しているが、新規設置は6台あり、事業の実施は順調にされていると考えている。
	令和6年度(実績)	固定型209台、携帯型1台。設置台数は、施設入所などの理由で減少しているが、新規設置は10台あり、事業の実施は順調にされていると考えている。
	令和7年度(実績)	固定型181台、携帯型7台。設置台数は、施設入所などの理由で減少しているが、新規設置は11台あり、事業の実施は順調にされていると考えている。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
システム設置台数(台)	210	188	

事業名	② 災害発生時等における情報伝達手段の整備	担当	危機管理課
概要と現状	台風・地震などの災害発生が予測される時や災害発生時には、避難に関する情報、被害状況、避難所の開設状況などの情報を伝達する手段の整備を進めます。		
方向性	防災行政無線拡声子局(スピーカー)、安心・安全メール、市のホームページ、SNS、テレビ埼玉のデータ放送、防災無線放送確認ダイヤルなど、現在運用している情報伝達手段の普及・啓発に努めます。また、自宅に居ながら防災行政無線の放送を聴くことができる「戸別受信機」の整備など、新たな情報伝達手段の導入を進めます。		

経過	令和5年度 (実績)	『安心・安全メール』については市ホームページや市広報誌で周知し、登録者数は、3,873名(3月末時点)となっており、前年同月に比べると8名増加している。
	令和6年度 (実績)	『安心・安全メール』については市ホームページや市広報誌で周知し、登録者数は、4,020名(3月末時点)となっており、前年同月に比べると147名増加している。また、情報伝達手段の強化を図るため防災行政無線の更新工事設計業務を委託して実施した
	令和7年度 (実績)	『安心・安全メール』については市ホームページや市広報誌で周知し、登録者数は、4,072名(3月末時点)となっており、前年同月に比べると52名増加している。また、情報伝達手段の強化を図るため、令和7・8年度で実施する防災行政無線固定系施設更新工事の令和7年度分が完了した。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

事業名	③ 配食サービス事業			担当	長寿支援課	
概要と現状	身体的・精神的理由により自ら調理を行うことができないひとり暮らし高齢者等に、高齢者用に調理された昼食を配達することで、高齢者の見守り(安否確認)と栄養改善を図っています。					
方向性	高齢者人口の増加と世帯形態の変化により、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、日中独居の高齢者が増加しています。高齢者の安否確認と栄養改善を目的に、今後も継続して事業を実施します。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
配食サービス事業 利用実人員(人)	50	43	45	60	60	60
配食サービス事業 延べ配食数(食)	4,400	4,181	4,786	5,000	5,000	5,000

経過	令和5年度 (実績)	前年度から配食数・利用者人数が増加し、順調に事業が進行している。これからも高齢者の安否確認と栄養改善を目的に、引き続き周知を行い、必要な方へサービスを提供していく。
	令和6年度 (実績)	前年度から配食数・利用者人数が減少しているが、順調に事業は進行している。これからも高齢者の安否確認と栄養改善を目的に、引き続き周知を行い、必要な方へサービスを提供していく。
	令和7年度 (実績)	順調に事業は進行している。これからも高齢者の安否確認と栄養改善を目的に、引き続き周知を行い、必要な方へサービスを提供していく。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
配食サービス事業 利用実人員(人)	42	43	
配食サービス事業 延べ配食数(食)	4,218	4,112	

事業名	④ 高齢者見守り活動支援事業			担当	長寿支援課	
概要と現状	持病その他救急時において、高齢者が迅速に必要な医療サービスを受けることができるよう、かかりつけ医、疾病歴、服薬状況や緊急連絡先などを記録する「救急医療情報キット」を、主に民生委員から配布しています。ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯等に配布することで、救命の現場で活用されています。					
方向性	民生委員を通じて「救急医療情報キット」が必要と思われる高齢者の把握に努め、新規対象者への配布を継続するとともに、配布済みの方に対する継続支援として、情報更新の呼びかけと更新作業の補助に努めます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
救急医療キット配布事業 新規配布件数(件)	7	122	45	50	50	50
救急医療キット配布事業 延べ配布件数(件)	4,319	4,441	4,489	4,550	4,600	4,650

経過	令和5年度 (実績)	民生委員の訪問による配布を継続実施しながら、窓口での周知・配布にも努めた。新規配布数は、ほぼ指標どおりであった。
	令和6年度 (実績)	民生委員の訪問による配布を継続実施しながら、各地域包括支援センターや市役所窓口での周知・配布にも努めた。はすぴい元気体操で紹介されたことにより、新規配布数が大幅に増加した。
	令和7年度 (実績)	民生委員の訪問による配布を継続実施しながら、各地域包括支援センターや市役所窓口での周知・配布にも努めた。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
救急医療キット配布事業 新規配布件数(件)	116	139	
救急医療キット配布事業 延べ配布件数(件)	4,605	4,745	

事業名	⑤ 避難行動要支援者対策の推進			担当	危機管理課・福祉課・長寿支援課・長寿支援課		
概要と現状	要配慮者のうち、災害時に自ら避難することが困難な方の情報を掲載した「災害時避難行動要支援者名簿」を作成しています。また、個人情報を外部提供することに同意があった方について、地域の避難支援等関係者に事前に情報提供し、災害発生時の避難を実効性のあるものとするため、避難支援の方法等を記載した「個別避難計画書」の作成を行っています。						
方向性	要配慮者を把握している課(福祉課・長寿支援課・長寿支援課)は、登録された対象者ごとに災害時の避難支援等ができるようにするための「個別避難計画」の策定に取り組み、順次、新たな要配慮者の「個別避難計画」の策定や、既存の要配慮者の情報の更新を行っていきます。関係自治会において登録者の確認や訪問を行い、「個別避難計画」の策定に向けた取組を進めていきます。						
指標		実績値			計画値		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
【危機管理課】 避難行動要支援者 名簿登録者数(人)		2,612	2,358	2,189	2,300	2,300	2,300

経過	令和5年度 (実績)	令和5年10月1日現在の名簿及び個別避難計画書について、避難支援者となる自治会へ配布を行った。その名簿等の情報に基づき、関係自治会において登録者の確認や訪問を行い、市において情報の更新を行った。(危機管理課) 障害者手帳交付時に対象者へ制度説明を行い、個別計画を提出していただくようはたらきかけている。名簿システムへのデータ整備を行った。(福祉課) 要介護3から5の認定を受けた方に、避難行動要支援者名簿への登載の同意確認と個別支援計画の作成の案内を通知し、災害時の避難支援に取り組んだ。(長寿支援課) 避難行動要支援者名簿への登録希望者について、随時申請を受け付け、名簿に登録した。(長寿支援課)
	令和6年度 (実績)	市、自治連合会、民生委員・児童委員協議会と避難行動要支援者名簿制度の運用について情報共有を行った。また、個別避難計画の策定を推進すべく、避難支援者を対象とする個人賠償責任保険への加入を検討した。(令和7年度当初予算化)(危機管理課) 障害者手帳交付時に対象者へ制度説明を行い、個別計画を提出していただくようはたらきかけている。名簿システムへのデータ整備を行った。(福祉課) 要介護3から5の認定を受けた方に、避難行動要支援者名簿への登載の同意確認と個別支援計画の作成の案内を通知し、災害時の避難支援に取り組んだ。(長寿支援課) 避難行動要支援者名簿への登録希望者について、随時申請を受け付け、名簿に登録した。(長寿支援課)
	令和7年度 (実績)	支援者の確保を促進し、個別避難計画の策定の向上に繋げるため避難支援者を対象とする個人賠償責任保険に加入した。(危機管理課) 要介護3から5の認定を受けた方に、避難行動要支援者名簿への登載の同意確認と個別支援計画の作成の案内を通知し、災害時の避難支援に取り組んだ。(長寿支援課) 避難行動要支援者名簿への登録希望者について、随時申請を受け付け、名簿に登録した。(長寿支援課) 障害者手帳交付時に対象者へ制度説明を行い、個別避難計画を提出していただくようはたらきかけている。名簿システムへのデータ整備を行った。(障がい者支援課)

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

【危機管理課】

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
【危機管理課】 避難行動要支援者名簿登録者数(人)	2,470	2,300	

事業名	⑥ 防火対策の推進	担当	消防本部予防課
概要と現状	住宅用火災警報器等の設置指導と交換及び点検の推進を実施しています。また、広報活動(防火パンフレット等)を実施し、高齢者住宅を含めた防火対策の充実を図っています。		
方向性	これまでと同様に住宅用火災警報器等の設置指導と交換及び点検の推進を継続的に実施します。また、今後も消防訓練やイベントを通じ自治会単位で住宅用火災警報器のアンケートを行い、設置・点検状況調査を行います。		

経過	令和5年度 (実績)	新型コロナウイルス感染症予防対策をとり、自主防災組織等の訓練やアンケート調査を実施した。また、住宅用火災警報器促進広報、防火に関する啓発も同様に感染症予防対策をとり実施した。
	令和6年度 (実績)	自主防災組織等の訓練やイベントへ参加しアンケート調査を実施した。住宅用火災警報器促進広報、防火に関する普及啓発活動を実施した。
	令和7年度 (実績)	自主防災組織等の訓練やイベントを活用し、住宅用火災警報器のアンケート調査を行い、設置状況の確認や、点検・交換の必要性について広報活動を実施した。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

事業名	⑦ 救急医療の整備			担当	消防本部 消防総務課		
概要と現状	救急救命士の増員と救急救命士を含めた救急隊員の再教育を強化し、質の高い救急サービスの提供をめざします。また、心肺蘇生と AED の啓発を含めた講習会を継続的に実施しています。 第8期計画期間中、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、対面式での応急手当講習会が困難でありましたが、web 形式も含めていつでもどこでも学べる環境の整備に取り組めます。						
方向性	場所を問わず応急手当が必要となる現場に居合わせた住民が、適切な応急手当ができることが求められています。そのため、多くの住民が様々な形式で救命講習等を受講できる機会を増やしていきます。 また、高齢者にとってリスクの高い心筋梗塞、脳卒中、熱中症などの救急予防に関する講習会を高齢者施設と連携を図り実施し、小学生から応急手当に関する講習を実施することにより、子供から高齢者まで安心して生活できるまちづくりをめざします。						
指標		実績値			計画値		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
応急手当講習受講者数(人)		1,686	3,299	3,476	3,000	3,000	3,000

経過	令和5年度 (実績)	新型コロナウイルス感染症の影響で救急ワークステーションが中止となったが、感染対策を講じ、署内において指導救命士が全救急隊員の知識・技術の向上と強化を図った。 高度医療機関等において救急救命士の再教育を対象者 20 名に実施。普通救命講習会（上級含）31回・576名、その他の救命講習（着衣泳含）73回・3,476名が応急手当講習を受講した。
	令和6年度 (実績)	救急ワークステーションが中止となったが、各係に配置している指導救命士を主軸として全救急隊員の知識・技術の向上を図った。また、外部講師による分娩介助研修を全職員に対し実施し、周産期救急対応の強化を図った。 高度医療機関等において救急救命士の再教育を対象者 18 名に実施。普通救命講習会（上級含）24回・600名、その他の救命講習（着衣泳含）96回・5,467名が応急手当講習を受講した。
	令和7年度 (実績)	救急ワークステーションが昨年に引き続き中止となったが、9名の指導救命士を主軸として全救急隊員への部内教育を実施した。また、署内症例報告会や他消防への同乗実習を行い救急対応の強化を図った。 高度医療機関等において救急救命士の再教育を対象者 20 名に実施。普通救命講習会（上級含）25回・840名、その他の救命講習（着衣泳含）91回・4,813名が応急手当講習を受講した。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
応急手当講習受講者数(人)	5,467	4,813	

事業名	⑧ 自主防災・自主防犯組織の活動支援			担当	危機管理課	
概要と現状	自主防災組織の設立促進や活動支援を目的に、自主防災組織設立・防災資機材購入・防災訓練実施に対し、補助金を支給します。また、地域防災の担い手となる人材育成を目的に、防災士資格取得費用について補助金を支給します。さらに、地域の自主的な防犯体制を確立するため、自主防犯組織活動用物品購入補助金を支給します。					
方向性	引き続き、自主防災・防犯組織の活動を促進し、育成するため、必要な経費を補助します。併せて、住民主体の防災・防犯活動を支援するために情報提供や理解啓発に努めます。また、蓮田市と自主防災・防犯組織との協力体制構築を進め、各組織が活動を円滑に実施できるよう努めます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
自主防災組織数(件)	40	40	41	42	43	44
自主防災出前講座(回)	7	11	8	20	20	20
自主防犯組織数(件)	65	64	64	70	70	70
自主防犯出前講座(回)	0	0	3	5	5	5

経過	令和5年度(実績)	自主防災組織への補助金の支給は、防災資機材購入12件、防災訓練11件、新規設立1件、自主防犯組織への補助金の支給は6件となった。自主防災組織が1団体設立された。自主防災出前講座は8回行うことができた。(県登録の講師派遣を含む)
	令和6年度(実績)	自主防災組織への補助金の支給は、防災資機材購入19件、防災訓練18件、新規設立2件、自主防犯組織への補助金の支給は5件となった。自主防災組織が2団体設立された。自主防災出前講座は16回、自主防犯出前講座は1回、行うことができた。(県登録の講師派遣を含む)
	令和7年度(実績)	自主防災組織への補助金の支給は、防災資機材購入17件、防災訓練16件、自主防犯組織への補助金の支給は5件となった。自主防災出前講座は11回実施した。(県登録の講師派遣を含む)

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
自主防災組織数(件)	43	43	
自主防災出前講座(回)	16	11	
自主防犯組織数(件)	54	54	
自主防犯出前講座(回)	1	0	

事業名	⑨ 高齢者見守り支援ネットワーク事業			担当	長寿支援課	
概要と現状	高齢者見守り支援ネットワーク事業では、在宅の高齢者が家族や地域社会から孤立することを防止し、日常生活における問題を早期に発見し、住み慣れた地域で安心した生活を営むことができるよう支援しています。 また、民生委員や自治会などの関係機関と、金融機関、農業協同組合、郵便局、新聞販売店、ガス事業者などの民間事業者を含む構成団体と協力して、高齢者の生活を見守る支援ネットワークを推進しています。					
方向性	ネットワーク構成員による会議を開催し、虐待防止や権利擁護、認知症や見守り等に関する情報交換や研修を実施します。ネットワーク構成団体の連携を深め、地域のひとり暮らし高齢者や認知症高齢者などに対する支援機能の強化を図ります。 また、見守りネットワークの拡大に向け、高齢者の日常生活に関わりが深い関係機関や団体、事業所の登録を推進します。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
ネットワーク登録 団体数(団体)	94	94	94	96	97	98

経過	令和5年度 (実績)	ネットワーク登録事団体数は94。ネットワーク構成団体からの連絡や相談は61件あった。また、見守り支援ネットワーク会議は「地域での孤独・孤立の防止-多様な『見守り』」をテーマに開催し、10団体20事業所から52人の参加があった。
	令和6年度 (実績)	ネットワーク登録事団体数は96。ネットワーク構成団体からの連絡や相談は122件あった。また、見守り支援ネットワーク会議は『認知症について考えてみよう』をテーマに講演会、「これからの地域での見守りを考える～さりげない見守りとは～」をテーマにディスカッション・情報交換会を開催し、8団体26事業所から59人の参加があった。
	令和7年度 (実績)	ネットワーク登録事団体数は97。ネットワーク構成団体からの連絡や相談は83件あった。また、見守り支援ネットワーク会議は『つながりがあるってあたたかい 孤独・孤立のない地域をつくるために』をテーマに講演会、「これからの地域での見守りを考える～さりげない見守りとは～」をテーマにディスカッション・情報交換会を開催し、10団体17事業所から46人の参加があった。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
ネットワーク登録団体数(団体)	96	97	

事業名	⑩ ひとり暮らし高齢者等見守り事業	担当	社会福祉協議会			
概要と現状	ひとり暮らしの高齢者等が住み慣れた地域で安心、安全に生活できるよう、民生委員や社会福祉協議会に登録した見守り協力員が見守り訪問を実施しています。					
方向性	見守り協力員の確保に努め、民生委員の協力を得ながら高齢者等の見守り活動に取り組んでいきます。民生委員と見守り協力員の連絡会を定期的に開催し、情報交換等を行い事業の充実を図ります。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用実人員(人)	41	44	39	47	49	51
見守り協力員(人)	30	34	32	35	37	39
延べ実施回数(回)	785	919	967	981	1,023	1,064

経過	令和5年度 (実績)	・担当民生委員による訪問と、見守り協力員による毎月第3水・木曜日の訪問を実施した。 ・民生委員と見守り協力員の情報交換を目的に連絡会を年3回開催した。
	令和6年度 (実績)	・担当民生委員による訪問と、見守り協力員による毎月第3水・木曜日の訪問を実施した。 ・民生委員と見守り協力員の情報交換を目的に連絡会を年3回開催した。
	令和7年度 (実績)	・担当民生委員による訪問と、見守り協力員による毎月第3水・木曜日の訪問を実施した。 ・民生委員と見守り協力員の情報交換を目的に連絡会を年2回開催した。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用実人員(人)	44	42	
見守り協力員(人)	29	27	
延べ実施回数(回)	877	980	

事業名	⑪ 交通安全教育の推進			担当	自治振興課	
概要と現状	高齢者の交通安全を確保するためには、高齢者自身の交通安全意識の向上を図るとともに、他の世代も高齢者の特性を知り、高齢者に配慮する意識を高めることが重要です。 これらの啓発活動を、岩槻・蓮田地区交通安全協会、蓮田市交通指導員会、蓮田市交通安全母の会等の関係団体と連携、協力を図り、交通安全教育を推進しています。					
方向性	高齢者が、道路や交通の状況に応じて安全に通行するために、必要な技能及び交通ルール等の知識を習得するとともに、夜間の交通事故防止に効果の高い反射材の普及促進を図ります。 また、自転車乗車中の交通事故を防止するため、参加・体験・実践型の交通安全教育を積極的に推進します。 さらに、高齢運転者に対しては、身体機能や認知機能の低下を意識させる啓発活動を推進するとともに、運転の危険性を認識した高齢者の自主的な免許返納制度について周知を図るとともに、シルバー・サポーター制度に協賛いただけるよう市内事業所に働きかけていきます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
交通安全啓発活動(回)	6	4	8	10	10	10

経過	令和5年度 (実績)	- 交通安全街頭キャンペーン（春・秋・冬） ※夏は雨天予報により中止。 - 自転車安全利用の日街頭啓発活動 - 安心・安全歳末一斉キャンペーン - お達者訪問大作戦
	令和6年度 (実績)	- 交通安全街頭キャンペーン（春・秋・冬） ※夏は雨天により中止。 - 自転車安全利用の日街頭啓発活動 - 安心・安全歳末一斉キャンペーン - お達者訪問大作戦 - 高齢者の自主的な運転免許返納制度について、関係記事を広報紙に掲載し周知を行った。
	令和7年度 (実績)	- 交通安全街頭キャンペーン（夏・秋・冬） ※春は雨天予報のため中止。 - 自転車安全利用の日街頭啓発活動。 - 安心・安全歳末一斉キャンペーン

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
交通安全啓発活動(回)	8	9	

事業名	⑫ ふれあい収集事業			担当	蓮田白岡 衛生組合	
概要と 現状	高齢又は障がい等の理由により、家庭ごみを自ら集積所まで持ち出すことが困難であり、身近な人の協力も得ることができない方に対し、週に1回、戸別にごみの収集を行い、ごみ出しを支援しています。併せて、ごみの排出状況による生活維持の確認や、希望者への声掛け(安否確認)を実施し、声掛けの希望がない場合においても、ごみが未排出のときには声掛けをしています。なお、必要時には、あらかじめ届出のあった緊急連絡先へ通報するなどの対応を行っています。					
方向性	高齢化の進行に伴い、高齢者世帯や要介護者世帯の増加が見込まれることから、これらの世帯での家庭ごみ排出に対応すべく、調整を図ります。また、安否の確認においても、孤独死や孤立死が社会問題として浮上する中、利用者及び親族の不安を少しでも軽減できるよう、事業に取り組みます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
新規申請数(世帯)	42	42	29	38	38	38
利用数(世帯)	111	135	133	200	243	295

経過	令和5年度 (実績)	ふれあい収集利用申請数は、29世帯分を受け付けた。利用者数については、令和5年度末において133世帯であった。
	令和6年度 (実績)	ふれあい収集利用申請数は、43世帯分を受け付けた。利用者数については、令和6年度末において145世帯であった。
	令和7年度 (実績)	ふれあい収集利用申請数は、44世帯分を受け付けた。利用者数については、令和7年度末において156世帯であった。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
新規申請数(世帯)	43	44	
利用数(世帯)	145	156	

施策4 高齢者の権利擁護の推進

事業名	① 成年後見制度利用支援事業			担当	長寿支援課	
概要と現状	認知症等により事理弁識能力が不十分で、かつ支援を行う2親等内の親族がいないなどの理由により、財産管理や身上監護など必要な保護が図れない高齢者の権利擁護のため、成年後見制度の利用支援を行います。 支援の内容は、家庭裁判所への成年後見等審判開始の市長申し立て、及び同申し立てにより後見人等が選任された対象者のうち、経済的困窮者への後見人等の報酬を助成しています。					
方向性	高齢者人口の増加と平均寿命の伸長により、認知症高齢者の数も増えていくことが予想されるため、今後も事業を推進していきます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
市長申立利用者数(人)	1	3	2	1	1	1
後見人等報酬助成者数(人)	0	0	0	2	3	4

経過	令和5年度 (実績)	身上監護を行う親族がいない2人に対して、候補者をさいたま家庭裁判所に一任する市長申立を行い、司法書士を後見人とする審判を受けた。引き続き高齢者の権利擁護を推進した。
	令和6年度 (実績)	身上監護を行う親族がいない2人に対して、蓮田市社会福祉協議会を候補者として成年後見の市長申立を行い、蓮田市社会福祉協議会を後見人とする審判を受けた。引き続き高齢者の権利擁護を推進した。
	令和7年度 (実績)	身上監護を行う親族がいない1人に対して、候補者をさいたま家庭裁判所に一任する市長申立を行い、審判を受ける前に対象者が亡くなった。引き続き高齢者の権利擁護を推進した。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
市長申立利用者数(人)	2	1	
後見人等報酬助成者数(人)	0	0	

事業名	② 成年後見制度の普及			担当	福祉課・ 社会福祉協議会	
概要と 現状	高齢者人口の増加と平均寿命の伸長により、認知症高齢者の数も増えていくことが予想されます。 そのため、介護サービス利用の契約等の際に後見人の需要は今後高まるものと考えられます。そのときに、成年後見制度が市民にとってより身近な存在で、必要な時に利用しやすいものであるよう、制度の普及に取り組む必要があります。本市では、市民向けの普及啓発のための研修会を実施しています。					
方向性	成年後見制度について、普及啓発のための研修会を行い、市民への浸透を図ります。成年後見制度の活用や相談支援等を実施する中核機関について、社会福祉協議会など関係機関と情報交換や協議を行いながら運営します。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
研修会開催回数 (回)	1	1	1	1	1	1
参加者数(人)	34	27	104	50	50	50

経過	令和5年度 (実績)	成年後見制度の普及・啓発事業について、3月に民生委員等を対象に「成年後見制度の基礎と活用場面」というテーマで司法書士による啓発の講演会を開催し、104名が参加した。(長寿支援課) 法人後見事業のリーフレットを作成し、事業の周知を通じて制度普及を行った。 埼玉県が開催する成年後見制度利用促進協議会や各種研修会に参加・参画し、県内の市民後見人制度の実施体制や実施方法の把握に努めた。(社会福祉協議会)
	令和6年度 (実績)	4月に成年後見センター(中核機関)を設置した。センターのちらしを作成し、関係団体等への配付、公共施設の配架を行い、個別相談会を実施した。3月に司法書士による市民向けの成年後見制度普及啓発講演会を開催し、21名が参加した。(福祉課) 埼玉県が開催する成年後見制度利用促進協議会や各種研修会に参加・参画した。11月に市民を対象に地域福祉の集い事業「成年後見制度の利用のしかた」というテーマで、社会福祉士による啓発の講演会を開催し48名が参加した。(社会福祉協議会)
	令和7年度 (実績)	4月に成年後見成年後見制度利用促進協議会を設置した。センターのちらしを作成し、関係団体等への配付、公共施設の配架を行い、司法書士や職員による個別相談会を実施し13件の相談があった。3月に司法書士による市民向けの成年後見制度講演会・個別相談会を開催し、講演会に19名が参加した。(福祉課) 埼玉県が開催する成年後見制度利用促進協議会や各種研修会に参加・参画した。7月に地域包括支援センター、12月に市民を対象に事業周知を行った。(社会福祉協議会)

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

【福祉課】

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
研修会開催回数(回)	1	1	
参加者数(人)	21	19	

事業名	③ 福祉サービス利用援助事業 (あんしんサポートねっと)			担当	社会福祉協議会	
概要と現状	一人で判断することに不安のある高齢者等が安心して日常生活を送れるよう、生活支援員が生活の場に訪問し、福祉サービスの利用援助や郵便物の確認、暮らしに必要なお金の出し入れなどの援助を行っています(埼玉県社会福祉協議会委託事業)。					
方向性	事業運営マニュアルに基づき、適正な運営に努めるとともに、社協だよりや社協ホームページへの掲載、民生委員等に事業を周知し利用者の増加に努めます。併せて、生活支援員を配置し安定的な運営に努めます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用実人員(人)	8	9	6	10	11	12
延べ利用回数(回)	137	124	95	150	160	170

経過	令和5年度 (実績)	- 生活支援員が生活に関する手続きやお金の出入金等を支援した。 - 研修等に参加し生活支援員及び専門員の資質向上に努めた。
	令和6年度 (実績)	- 生活支援員が生活に関する手続きやお金の出入金等を支援した。 - 研修等に参加し生活支援員及び専門員の資質向上に努めた。 - 円滑な事業運営のため、関係機関や家族との情報共有に努めた。
	令和7年度 (実績)	- 生活支援員が生活に関する手続きやお金の出入金等を支援した。 - 市民後見人養成講座修了者に対し、事業説明と生活支援員の募集を行った。 - 円滑な事業運営のため、関係機関や家族との情報共有に努めた。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用実人員(人)	5	8	
延べ利用回数(回)	87	92	

基本目標3 資源整備・環境づくり

施策1 ボランティア体制の整備

事業名	① ボランティア活動の促進			担当	学校教育課・ 社会福祉協議会	
概要と 現状	学校教育課では、社会福祉や環境保全、国際協力、文化活動など、体験学習を中心に教育活動全体を通して指導を充実させています。 社会福祉協議会では、ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティア活動の相談、需給調整を行っているほか、福祉関係のボランティアの育成、個人や団体のボランティア活動への支援などを行っています。					
方向性	学校教育課では、豊かな心や福祉の心を育て日常生活の中に生かしていくため、学校と家庭、地域社会との連携を深め、開かれた教育課程の実現を図ります。 社会福祉協議会では、ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアの相談、調整を行っていきます。また、ボランティア養成のための講習会やボランティア体験プログラムを実施し、活動のきっかけを作り、ボランティアの育成・支援に努めます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
ボランティア登録者(人)	469	488	358	525	530	535
登録団体(団体)	35	35	29	29	30	31
ボランティア講座等の修了者数(人) (うち、ボランティア等の活動者)	25 (7)	32 (8)	36 (16)	25 (23)	25 (23)	25 (23)

経過	令和5年度 (実績)	各学校で、児童会・生徒会を中心に募金活動を実施した。(学校教育課) ・ボランティアの養成、活動の機会や情報提供を目的に「地域ボランティア講座」を中央公民館と共催で開催した。 ・夏のボランティア体験&サマースクール2023を開催した。 ・ボランティアグループ連絡協議会を8月、2月の年2回開催した。 ・点訳ボランティア養成講習会、音声訳ボランティア養成講習会、傾聴ボランティア養成講習会を開催した。 備考 ・夏のボランティア体験&サマースクール2023の参加者等：19プログラム138名参加(社会福祉協議会)
	令和6年度 (実績)	各学校で、児童会・生徒会を中心に募金活動を実施した。(学校教育課) ・ボランティアの養成、活動の機会や情報提供を目的に「地域ボランティア講座」を中央公民館と共催で開催した。 ・夏のボランティア体験&サマースクール2024を開催、15プログラムに85名が参加した。 ・ボランティアグループ連絡協議会を8月、2月の年2回開催した。 ・点訳ボランティア養成講習会を開催した。(社会福祉協議会)
	令和7年度 (実績)	各学校で、児童会・生徒会を中心に募金活動を実施した。(学校教育課) ・ボランティアの養成、活動の機会や情報提供を目的に「地域ボランティア講座」を開催した。 ・夏のボランティア体験&サマースクール2025を開催し、18プログラムに102名が参加した。 ・ボランティアグループ連絡協議会を8月、2月の年2回開催した。 ・点訳ボランティア養成講習会、音声訳ボランティア養成講習会を開催した。(社会福祉協議会)

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
ボランティア 登録者(人)	484	468	
登録団体(団体)	34	33	
ボランティア講座等の修了者数(人) (うち、ボランティア等の活動者)	19 (17)	17	

施策２ 老人福祉施設の充実

事業名	① 養護老人ホーム			担当	長寿支援課	
概要と現状	環境上の理由及び経済的理由により、居宅での生活が困難な高齢者の方に、養護老人ホームへの入所措置を行っています。					
方向性	市内に該当する施設は整備されていませんが、入所措置にあたっては、入所対象者の環境上及び経済的状況を十分把握し、引き続き適正な対応を図ります。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
措置人員(人)	3	3	3	3	3	3

経過	令和5年度 (実績)	前年度から入所している3名のまま推移している。
	令和6年度 (実績)	新規に1人の入所措置を開始し、合計4人の入所となった。入所措置にあたっては、入所対象者の環境上及び経済的状況を十分把握し、適正な対応を図った。
	令和7年度 (実績)	前年度から入所している4名のまま推移したが、年度途中で入所者の死亡や転所により2名になった。入所措置にあたっては、入所対象者の環境上及び経済的状況を十分把握し、適正な対応を図った。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
措置人員(人)	4	4	

事業名	② 軽費老人ホーム			担当	長寿支援課	
概要と現状	家庭環境、住宅事情等の理由により、居宅において生活することが困難な方が入所し、低額な料金で日常生活上必要な便宜を供与しています。					
方向性	高齢者の多様な住まいの一形態であり、現在市内にはケアハウスが1か所ありますが、需要に応じた基盤整備について、広域的な観点から検討します。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
定員(人)	53	53	53	53	53	53
本市からの入所者数(人)	19	12	24	19	19	19

経過	令和5年度 (実績)	蓮田市からの入居者数は増加し、指標を上回った。
	令和6年度 (実績)	蓮田市からの入居者数は増加し、大きく指標を上回った。
	令和7年度 (実績)	蓮田市からの入居者数は減少したが、大きく指標を上回っている。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
定員(人)	53	53	
本市からの入所者数(人)	40	37	

事業名	③ 老人福祉センター			担当	長寿支援課	
概要と現状	地域の高齢者からの各種相談に応じるとともに、健康増進、教養の向上及びレクリエーションの機会を提供しています。					
方向性	季節ごとの行事やクラブ活動などの一層の活性化と、日々の活動においても、介護予防につながるような健康づくりのための踊り、体操、ゲーム等の普及を図ります。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年間延べ利用者数(人)	11,705	18,622	20,391	19,000	19,000	19,000
一日平均利用者数(人)	50	64	70	80	80	80

経過	令和5年度 (実績)	指定管理者と連携・協力し、サービスの向上に努め、安心して利用ができるように努めた。年間延べ利用者数及び一日平均利用者数は前年度より増加した。
	令和6年度 (実績)	指定管理者と連携・協力し、サービスの向上に努め、安心して利用ができるように努めた。給水ポンプの漏水により空調設備を使用できず、1か月間開館時間を短縮したため、年間延べ利用者数及び一日平均利用者数は前年度より減少した。
	令和7年度 (実績)	指定管理者と連携・協力し、サービスの向上に努め、安心して利用ができるように努めた。冷暖房設備の故障による夏季期間の室温上昇のため、令和7年7月1日から9月30日までを休館としたが、指定管理者と協力し、白岡市老人福祉センターに通常の送迎バスを運行し、指定管理者職員が随行したり、蓮田市保健センターを利用し一部行事を開催するなど、休館中の利用者への対応に努めた。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年間延べ利用者数(人)	19,160	14,120	
一日平均利用者数(人)	66	57	

施策3 外出支援の推進

事業名	① 移送サービス事業	担当	長寿支援課			
概要と現状	常時車いす又はねたきり状態にあって、一般の交通機関を利用することができない高齢者を対象に、市内又は隣接市町にある医療機関及び保健福祉施設へ移動する際、委託事業者の介護タクシーを安価に利用できるよう、利用券を発行しています。					
方向性	一般的な交通機関を利用することができない常時車いす又はねたきり状態の高齢者への外出支援策として有用であり、利用者のニーズや社会情勢に合わせ、サービスの適用地域等を検討しつつ、今後も事業を実施します。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用実人員(人)	18	21	14	30	30	30
延べ利用回数(人)	204	201	129	300	300	300

経過	令和5年度 (実績)	利用人数、延べ利用回数共に昨年の実績を下回った。引き続き、窓口での相談時や会議等で周知を図った。
	令和6年度 (実績)	利用範囲に新たに春日部市を追加し、更なる利便性の向上を図った。利用人数、延べ利用回数共に昨年の実績を上回った。引き続き、窓口での相談時や居宅介護支援事業所会議等で周知を図った。
	令和7年度 (実績)	委託会社を1者増やし、更なる利便性の向上を図った。利用人数、延べ利用回数共に昨年の実績を上回った。引き続き、窓口での相談時や居宅介護支援事業所会議等で周知を図った。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用実人員(人)	16	22	
延べ利用回数(人)	136	175	

事業名	② 福祉車両貸出事業			担当	社会福祉協議会	
概要と現状	車いすを利用する方へ、社会参加のための外出や通院等に、福祉車両(リフト付きワゴン車等)の貸出しを行っています。					
方向性	福祉車両貸出事業の周知に努めます。新型コロナウイルス等の感染症対策を講じながら、利用者が安全、快適に利用できるように車両整備に努めます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用実人員(人)	19	15	27	25	27	29
延べ利用回数(回)	103	108	103	120	130	140

経過	令和5年度 (実績)	・社協だよりやホームページを活用し事業の周知に努めた。 ・移動に福祉車両が必要な高齢者や障がい者の社会参加が図られました。
	令和6年度 (実績)	・社協だよりやホームページを活用し事業の周知に努めた。 ・移動に福祉車両が必要な高齢者や障がい者の社会参加が図られた。
	令和7年度 (実績)	・社協だよりやホームページを活用し事業の周知に努めた。 ・移動に福祉車両が必要な高齢者や障がい者の社会参加が図られた。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用実人員(人)	17	21	
延べ利用回数(回)	80	94	

施策4 福祉のまちづくりの推進

事業名	① 公共施設・道路・公園等の整備			担当	みどり環境課・ 建築指導課・ 道路課	
概要と 現状	高齢者や障がい者等が健康で暮らすことができる安全と潤いのある生活環境を確保することを目的として、整備を行っています。					
方向性	みどり環境課では、高齢者や障がい者の利便性を高めるため、公園等のバリアフリー化を可能な範囲で進めます。また、新たな公園整備を行う際には、健康遊具の設置等を積極的に推進します。 建築指導課では、公共施設の新築・増築・改修等に併せて、その都度ユニバーサルデザインの発想を取り入れた整備を可能な範囲で実施します。 道路課では、高齢者や障がい者の利便性及び安全性の観点から点字ブロックの更新及び潤いある歩道として舗装のカラー化、蓮田駅東口駅前広場の歩道整備を進めます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
東口駅前広場の歩道整備延長(m) (カラー舗装は最終年度予定の為除く)	20	20	20	20	20	20

経過	令和5年度 (実績)	蓮田駅東口駅前広場は段差やガタツキが発生した箇所を解消するために、平板ブロックの撤去及び舗装による補修を行った。また、市道51号線（のくぼ通り）の歩道について植樹柵に歩道と段差が生じた箇所があり、植樹柵を埋めて段差の解消をした。（道路課）
	令和6年度 (実績)	高齢者や障がい者が安心して利用できる環境を整備するため、堂山公園でバリアフリー対応のトイレの新築工事を行った。また、中谷公園では、バリアフリー対応トイレへの改修に向け、設計業務を委託した。（みどり環境課） 中央小学校校舎増築工事及び黒浜小学校給食棟建替え工事において、バリアフリーに配慮した施設整備を行った。（建築指導課） 潤いのある歩道として、市道4号線（蓮田駅東口駅前広場を含む）及び市道53号線（根ヶ谷戸公園隣接道路）の舗装のカラー化に向けた歩道整備実施設計業務委託を完了した。（道路課）
	令和7年度 (実績)	中谷公園では、バリアフリー対応のトイレを新築し、高齢者や障がい者が公園を利用しやすいように整備を行った。また、西城沼公園の階段部に手すりを設置した。（みどり環境課） 総合市民体育館の改修及び増築工事、平野中学校トイレ改修工事においてバリアフリーに配慮した施設整備を行った。（建築指導課） 市道53号線（根ヶ谷戸公園隣接道路）のカラー舗装の歩道整備は、総延長250mの工事を実施した。（道路課）

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
東口駅前広場の歩道整備延長(m) (カラー舗装は最終年度予定の為除く)	0	0	

事業名	② 公共交通整備事業	担当	都市計画課
概要と現状	高齢者や障がい者等が主体的に地域に出て行けるよう、移動手段のバリアフリー化やユニバーサルデザイン化など、移動環境の整備を進めています。		
方向性	公共交通体系の検討とともに、バス事業者と協力して、路線バスの利用促進及び車両やバス停のバリアフリー化に努めます。具体的には、バス事業者への補助による超低床ノンステップバスの導入や、バス待ちスポットの利用促進を図ります。利用者の多いバス停に上屋を設置し、環境整備に努めます。 また、蓮田駅ホームからの転落防止対策を JR 東日本に要望していきます。併せて、蓮田駅下り線ホームから西口駅前広場に直結する地上改札の設置について要望していきます。		

経過	令和5年度 (実績)	蓮田駅に向かう路線のうち乗降客の多いバス停（2 か所）へ上屋を設置するため、バス事業者に対して補助金を交付した。 また、継続して、蓮田駅ホームからの転落防止対策及び、蓮田駅下り線ホームから西口駅前広場に直結する地上改札の設置について、JR 東日本に要望した。
	令和6年度 (実績)	路線バスの利用促進に向けた取組を進め、新たに1 か所バス待ちスポットが追加された。また、蓮田駅東西口に路線バスの時刻表やバスロケーションシステムを表示するデジタルサイネージの設置を計画しており、国庫補助を受けるための申請手続を進め、来年度補助金の交付を受けることとなった。 引き続き蓮田駅のホーム転落防止対策及び西口駅前広場に直結する地上改札の設置について、JR 東日本に要望を行った。
	令和7年度 (実績)	蓮田駅の東西両口および蓮田病院の計 3 箇所において、デジタルサイネージの設置が完了し、既に本格運用を開始している。また、新たに高齢者向けの定期券補助制度を制定し、来年度の申請受付開始に向けて周知を図っている段階である。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

事業名	③ 住宅改修支援事業 (ユニバーサルデザイン住宅等改修資金補助)			担当	商工課	
概要と現状	全ての人が使いやすい住宅等の整備を促進するため、個人住宅等の改修を行うことに対し、予算の範囲内において補助金を交付しています。					
方向性	全ての人が使いやすい住宅等の整備を促進するため、市内施工業者により行われるユニバーサルデザインの考え方に基づく住宅改修を行うことに対し、引き続き補助金を交付します。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用件数(件)	6	10	6	10	10	10

経過	令和5年度 (実績)	令和5年度の利用件数は6件で、利用実績は60%であった。制度の周知を図り、すべての人が使いやすい住宅等の整備を促進するために引き続き補助金を交付していく。
	令和6年度 (実績)	令和6年度の利用件数は7件で、利用実績は70%であった。制度の周知を図り、すべての人が使いやすい住宅等の整備を促進するために引き続き補助金を交付していく。
	令和7年度 (実績)	令和7年度の利用件数は11件で、利用実績は100%であった。制度の周知を図り、すべての人が使いやすい住宅等の整備を促進するため、引き続き補助金を交付していく。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用件数(件)	7	11	

令和7年度 介護保険事業計画

第1節 介護保険事業の実績と見込み

1 居宅（介護予防）サービス

① 訪問介護

ホームヘルパー等が居宅を訪問し、入浴・排せつ・食事等の介護、その他の日常生活上の援助・相談を行います。通院時の乗降介助なども利用できます。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス (人／月)	342	362	415	422	439	452

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス(人／月)	418	420	

② 訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護

介護職員と看護師が居宅を訪問し、浴槽を提供して入浴介助を行います。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス (人／月)	0	0	0	0	0	0
介護サービス (人／月)	36	39	31	43	47	50

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人／月)	0	0	
介護サービス(人／月)	36	36	

③ 訪問看護・介護予防訪問看護

心身機能の維持や回復のために、看護師や保健師、理学療法士等が居宅を訪問し療養や診療の介助を行います。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	12	11	12	13	13	14
介護サービス(人/月)	186	201	215	233	244	255

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	19	23	
介護サービス(人/月)	254	271	

④ 訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーション

心身機能の維持や回復のために、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士等が居宅を訪問し理学療法や作業療法、その他のリハビリテーションを行います。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	7	15	13	18	19	19
介護サービス(人/月)	81	92	100	106	112	117

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	11	11	
介護サービス(人/月)	101	89	

⑤ 居宅療養管理指導・介護予防居宅療養管理指導

医師、歯科医師、薬剤師等が居宅を訪問し、療養上の管理と指導を行います。また、ケアマネジャーに対して、ケアプランの作成に必要な情報提供も行います。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	21	25	21	29	29	31
介護サービス(人/月)	445	488	492	580	610	638

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	31	53	
介護サービス(人/月)	586	621	

⑥ 通所介護

通所介護施設において、日帰りで入浴・排せつ・食事等の介護、その他の日常生活上の援助・機能訓練・相談を行います。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス(人/月)	514	545	664	614	639	661

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス(人/月)	691	722	

⑦ 通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション

心身機能の維持回復や自立した日常生活を営めるように、介護老人保健施設や医療機関において、日帰りで理学療法や作業療法等のリハビリテーションを行います。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	85	77	78	64	65	67
介護サービス(人/月)	322	320	331	350	365	380

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	79	80	
介護サービス(人/月)	344	324	

⑧ 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

介護老人福祉施設等や老人短期入所施設へ短期入所する方に対し、入浴・排せつ・食事等の介護、その他の日常生活上の援助と機能訓練を行います。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	0	0	1	1	1	1
介護サービス(人/月)	95	82	97	106	109	116

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	2	1	
介護サービス(人/月)	103	120	

⑨ 短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護

介護老人保健施設等へ短期入所する方に対し、看護、医学的管理のもとに介護や機能訓練、その他必要な医療と日常生活上の援助を行います。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	0	1	1	1	1	1
介護サービス(人/月)	31	35	44	57	59	63

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	0	0	
介護サービス(人/月)	41	36	

⑩ 福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与

居宅で自立した日常生活を営めるように、適切な福祉用具の貸与を行います。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	125	131	143	147	151	155
介護サービス(人/月)	891	964	1,024	1,058	1,106	1,149

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	161	176	
介護サービス(人/月)	1,065	1,085	

⑪ 特定福祉用具購入費・特定介護予防福祉用具購入費

居宅で自立した日常生活を営めるように、入浴や排せつ等に使用する特定福祉用具について、同一年度 10 万円を上限とする購入に要した費用を補助します。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人／月)	2	3	2	4	4	4
介護サービス(人／月)	18	19	14	22	23	24

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人／月)	2	3	
介護サービス(人／月)	18	17	

⑫ 住宅改修費・介護予防住宅改修費

居宅で自立した日常生活を営めるように、20 万円を上限とする住宅改修に要した費用を補助します。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人／月)	4	4	5	5	5	6
介護サービス(人／月)	12	15	13	17	18	18

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人／月)	7	6	
介護サービス(人／月)	15	13	

⑬ 特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護

有料老人ホーム等に入居する要介護者等に、特定施設サービス計画に基づいて、入浴・排泄・食事等の介護やその他の日常生活上の援助・機能訓練・療養上の介助を行います。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	17	19	19	20	20	20
介護サービス(人/月)	162	172	179	193	198	203

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	19	18	
介護サービス(人/月)	200	216	

⑭ 居宅介護支援・介護予防支援

居宅介護支援事業者や地域包括支援センターがサービスの利用計画を作成し、適切なサービス提供が受けられるように管理を行います。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	196	194	212	200	205	210
介護サービス(人/月)	1,337	1,408	1,478	1,548	1,612	1,672

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	238	254	
介護サービス(人/月)	1,539	1,549	

2 地域密着型（介護予防）サービス

① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護を一体的に、または、それぞれが密接に連携しながら、短時間の定期巡回訪問と随時の対応を併せてサービスを行います。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス (人／月)	4	2	5	5	5	6

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス(人／月)	4	3	

② 夜間対応型訪問介護

夜間に、定期的に巡回して行う訪問介護と、利用者からの連絡で随時対応する訪問介護を組み合わせたサービスを行います。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス (人／月)	0	0	0	0	0	0

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス(人／月)	0	0	

③ 地域密着型通所介護

定員 18 人以下の小規模な通所介護施設において、食事や入浴等の日常生活上の支援や機能訓練を行います。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス (人／月)	91	99	101	117	121	126

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス(人／月)	93	97	

④ 認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護

認知症の方等が特別養護老人ホームやデイサービスセンター等に通い、入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の援助や機能訓練を受けます。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	0	0	0	0	0	0
介護サービス(人/月)	0	0	0	0	0	0

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	0	0	
介護サービス(人/月)	0	0	

⑤ 小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護

通いを中心に訪問や宿泊を組み合わせ、入浴・排せつ・食事等の介護、生活や健康等の相談、その他の日常生活上の援助と機能訓練を行います。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	0	0	0	0	0	0
介護サービス(人/月)	7	8	10	11	12	12

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	1	1	
介護サービス(人/月)	8	9	

⑥ 認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護

認知症の方に対し、共同生活住居で、入浴・排せつ・食事等の介護、その他の日常生活上の援助と機能訓練を行います。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	0	0	0	0	0	0
介護サービス(人/月)	106	106	105	113	121	124

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス(人/月)	0	0	
介護サービス(人/月)	108	105	

⑦ 地域密着型特定施設入居者生活介護

小規模な介護専用の有料老人ホーム等の入居者に対し、入浴、排せつ、食事等の介護やその他の日常生活上の援助、機能訓練、健康管理及び療養上の援助を行います。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス(人/月)	0	0	0	0	0	0

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス(人/月)	0	0	

⑧ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

小規模な特別養護老人ホームの入所者に対し、入浴、排せつ、食事等の介護やその他の日常生活上の援助、機能訓練、健康管理及び療養上の援助を行います。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス (人／月)	0	0	0	0	0	0

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス(人／月)	0	0	

⑨ 看護小規模多機能型居宅介護

通いを中心に、必要に応じて宿泊や訪問（介護・看護）のサービスを行います。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス (人／月)	2	6	7	12	14	16

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス(人／月)	5	5	

3 施設サービス

施設サービスとは、自宅で介護を受けることが困難な要介護者が、施設に入所して介護を受けることのできるサービスです。

① 介護老人福祉施設

常時介護が必要で、居宅での介護が困難な方に入浴・排せつ・食事等の介護、その他の日常生活上の援助と機能訓練、健康管理、療養上の介助を行います。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス (人／月)	391	390	394	409	416	423

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス(人／月)	424	446	

② 介護老人保健施設

安定した病状期にあり看護、医学的管理下での介護や、日常生活上の援助の必要な方に対し、在宅への復帰をめざして、リハビリテーション等のサービスを行います。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス (人／月)	201	198	198	203	207	211

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス(人／月)	199	220	

③ 介護医療院

介護療養型医療施設が持つ「医療」「介護」「生活支援」に加え「住まい」の機能を持った長期療養を目的とした施設となり、日常的な医学管理が必要な重介護者の受入れや、看取り・ターミナル等の機能と生活施設としての機能を兼ね備えたサービスとなります。

	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス (人／月)	4	6	6	6	6	6

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス(人／月)	7	7	

第2節 地域支援事業の実績と見込み

1 介護予防・日常生活支援総合事業

(1) 介護予防・生活支援サービス事業

事業名	① 訪問型サービス			担当	長寿支援課	
概要と現状	要支援者や事業対象者に対して、介護予防ケアマネジメントに基づき、訪問介護相当サービス及び生活支援サービスのみを提供する訪問型サービスAを実施しています。					
方向性	サービスの利用状況を把握し、必要なサービス量の確保や質の向上を図り、要支援者等が自立した生活が送れるよう支援を行います。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用延べ人数(人)	688	779	881	1,000	1,100	1,200

経過	令和5年度 (実績)	訪問介護相当サービスは19事業所、訪問型サービスAは7事業所によりサービスが提供されている。訪問介護相当サービスの利用延べ件数は881件、訪問型サービスAの利用延べ件数は0件。
	令和6年度 (実績)	訪問介護相当サービスは22事業所、訪問型サービスAは6事業所によりサービスが提供されている。訪問介護相当サービスの利用延べ件数は897件、訪問型サービスAの利用延べ件数は0件。
	令和7年度 (実績)	訪問介護相当サービスは23事業所、訪問型サービスAは6事業所によりサービスが提供されている。訪問介護相当サービスの利用延べ件数は959件、訪問型サービスAの利用延べ件数は0件。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用延べ人数(人)	897	959	

事業名	② 通所型サービス			担当	長寿支援課	
概要と現状	要支援者や事業対象者に対して、介護予防ケアマネジメントに基づき、通所介護相当サービス、通所型サービスA及び短期間で機能訓練等を行う短期集中予防サービスCを実施しています。					
方向性	サービスの利用状況を把握し、必要なサービス量の確保や質の向上を図り、要支援者等の生活機能が向上することをめざして、支援を行います。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用延べ人数(人)	1,592	1,646	1,938	1,850	1,950	2,050

経過	令和5年度 (実績)	通所介護相当サービスは43事業所、通所型サービスAは5事業所、通所型サービスCは1事業所によりサービスが提供されている。通所介護相当サービスの利用延べ件数は1,847件、通所型サービスAの利用延べ件数は20件、短期集中予防サービスの利用延べ件数は71件
	令和6年度 (実績)	通所介護相当サービスは44事業所、通所型サービスAは3事業所、通所型サービスCは1事業所によりサービスが提供されている。通所介護相当サービスの利用延べ件数は2,091件、通所型サービスAの利用延べ件数は0件、短期集中予防サービスの利用延べ件数は11件
		通所介護相当サービスは44事業所、通所型サービスAは3事業所、通所型サービスCは1事業所によりサービスが提供されている。通所介護相当サービスの利用延べ件数は2,342件、通所型サービスAの利用延べ件数は0件、短期集中予防サービスの利用延べ件数は26件

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用延べ人数(人)	2,102	2,342	

事業名	③ 介護予防ケアマネジメント			担当	長寿支援課	
概要と現状	介護予防及び生活支援を目的として要支援者等に対するアセスメントを行い、その心身の状況、置かれている環境に応じた本人の選択に基づき、適切にサービスが提供され、自立した生活につながるよう支援を行っています。					
方向性	高齢者が要介護状態になることを予防し、要支援者が自立した生活を送ることができるよう支援していきます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防ケアマネジメント件数(件)	1,524	1,641	1,724	1,800	1,900	2,000

経過	令和5年度 (実績)	支援を必要とする高齢者が、介護予防に取り組みながら要介護状態となることを予防するケアマネジメントを、延べ1,724人に実施した。
	令和6年度 (実績)	支援を必要とする高齢者が、介護予防に取り組みながら要介護状態となることを予防するケアマネジメントを、延べ1,579人に実施した。
	令和7年度 (実績)	支援を必要とする高齢者が、介護予防に取り組みながら要介護状態となることを予防するケアマネジメントを、延べ1,819人に実施した。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防ケアマネジメント件数(件)	1,579	1,819	

（２）一般介護予防事業

事業名	① 介護予防把握事業	担当	長寿支援課
概要と現状	生活機能が低下し、介護予防の取組が必要な高齢者を早期に把握し、介護予防事業等への参加を促すために、健診等の機会や 70 歳の方を対象として基本チェックリストを配布しています。また、医療機関、民生委員、その他地域住民、本人・家族や庁内関係部署との連携等により情報を収集し、把握に努めています。		
方向性	基本チェックリストにより把握した高齢者の情報や、その他の方法により収集した情報を活用し、介護予防の取組や支援を必要とする方を早期に把握し、介護予防活動につなげていくことで、要介護状態の予防を図っていきます。		

経過	令和 5 年度 (実績)	健康カレンダーによる周知や、特定健康診査時に医療機関の窓口でチェックリストを配布した。また 70 歳のかたを対象にチェックリストを配布し、介護予防事業対象者を把握した。
	令和 6 年度 (実績)	健康カレンダーによる周知や、特定健康診査時に医療機関の窓口でチェックリストを配布した。また 70 歳のかたを対象にチェックリストを配布し、介護予防事業対象者を把握した。
	令和 7 年度 (実績)	健康カレンダーによる周知や、特定健康診査時に医療機関の窓口でチェックリストを配布した。また 70 歳のかたを対象にチェックリストを配布し、介護予防事業対象者を把握した。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

事業名	② 介護予防普及啓発事業			担当	長寿支援課	
概要と現状	高齢者一人ひとりが主体的に介護予防に取り組めるよう、パンフレットの配布等により基本的な知識の普及啓発を図っています。また、運動器の機能維持向上を図る事業、認知症予防講座等の介護予防教室を実施しています。					
方向性	高齢者が健康で自立した生活をするためには、早い段階から介護予防に関心を持ち、正しい知識を身につけておくことが大切です。今後も介護予防に関する各種講座や健康体操を活用した運動教室等を開催し、行動変容につなげていきます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
運動習慣支援事業 (回)	40	60	58	60	60	60
認知症予防講座 (回)	19	18	18	21	21	21

経過	令和5年度 (実績)	基本チェックリストの配布に合わせて介護予防に関するパンフレットを配布し、普及啓発に努めた。介護予防の正しい知識の普及と行動実践につなげるための健康体操や認知症予防講座を実施した。自宅で介護予防に取り組むためのDVDや冊子の配布を継続して実施した。
	令和6年度 (実績)	基本チェックリストの配布に合わせて介護予防に関するパンフレットを配布し、普及啓発に努めた。介護予防の正しい知識の普及と行動実践につなげるための健康体操や認知症予防講座を実施した。自宅で介護予防に取り組むためのDVDや冊子の配布を継続して実施した。
	令和7年度 (実績)	基本チェックリストの配布に合わせて介護予防に関するパンフレットを配布し、普及啓発に努めた。介護予防の正しい知識の普及と行動実践につなげるための健康体操や認知症予防講座を実施した。自宅で介護予防に取り組むためのDVDや冊子の配布を継続して実施した。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
運動習慣支援事業(回)	74	72	
認知症予防講座(回)	20	26	

事業名	③ 地域介護予防活動支援事業			担当	長寿支援課	
概要と現状	住民自身が運営主体となつて行う介護予防活動は、身近な活動場所で行う必要があるため、地域において取り組みやすい環境を整えていくことが大切です。 介護予防に効果のあるおもりを使った体操(はすぴい元気体操)を住民運営で開催する団体を支援します。また、運営の担い手として活動する人材(はすぴいスマイルフィット)を育成する講座を開催しています。					
方向性	地域における自発的な介護予防活動を担うことのできる人材の育成やその活動への支援を行う事業として、「はすぴいスマイルフィット(介護予防サポーター)」養成事業を実施し、事業の拡大をめざします。 また、住民運営の教室で実施している「はすぴい元気体操」の継続的な活動の支援や新規の活動の開始に向けて多様な活動団体等へ普及啓発を行っていきます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
はすぴいスマイルフィット(介護予防サポーター)養成者数(人)	9	22	28	40	40	40
はすぴい元気体操実施か所数(か所)	37	37	40	38	39	40
はすぴい元気体操参加人数(人)	626	831	882	1,096	1,096	1,096

経過	令和5年度 (実績)	介護予防サポーター養成講座を16回実施し、28人の介護予防サポーターを養成した。「はすぴい元気体操」の活動継続支援を実施した。実施箇所は、新規に3か所開設し、40か所。
	令和6年度 (実績)	介護予防サポーター養成講座を16回実施し、24人の介護予防サポーターを養成した。「はすぴい元気体操」の活動継続支援を実施した。実施箇所は、新規に1か所開設し、40か所。
	令和7年度 (実績)	介護予防サポーター養成講座を8回実施し、20人の介護予防サポーターを養成した。「はすぴい元気体操」の活動継続支援を実施した。実施箇所は、新規に1か所開設し、41か所。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
はすぴいスマイルフィット(介護予防サポーター)養成者数(人)	24	20	
はすぴい元気体操実施か所数(か所)	40	41	
はすぴい元気体操参加人数(人)	909	987	

事業名	④ 一般介護予防事業評価事業			担当	長寿支援課	
概要と現状	介護保険事業計画において定める目標値の達成状況等の検証を行い、一般介護予防事業の事業評価を行います。					
方向性	介護予防事業を効果的に実施するために、目標値の設定を検討しながら事業を評価、分析していきます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防事業の参加率(%)※	4	4.9	5.4	6	6	6

経過	令和5年度 (実績)	令和6年3月1日現在の高齢者数19,608人のうち、介護予防普及啓発事業の参加実人数173人、はすぴい元気体操参加実人数82人であり、参加率は約5.4%だった。
	令和6年度 (実績)	令和7年3月1日現在の高齢者数19,477人のうち、介護予防普及啓発事業の参加実人数294人、はすぴい元気体操参加実人数909人であり、参加率は約6.2%だった。
	令和7年度 (実績)	全グループの現地支援にて、10年目アンケートの結果を共有した。令和8年3月1日現在の高齢者数19,435人のうち、介護予防普及啓発事業の参加実人数313人、はすぴい元気体操参加実人数987人であり、参加率は約6.7%だった。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防事業の参加率(%)※	6.2	6.7	

※参加率：普及啓発事業・地域介護予防活動支援事業参加者数／高齢者人口×100

事業名	⑤ 地域リハビリテーション活動支援事業			担当	長寿支援課	
概要と現状	介護予防の推進にあたっては、その機会の拡充とともに、質の維持・向上にも取り組んでいく必要があります。地域における介護予防の取組を強化するために、住民運営の通いの場にリハビリテーション専門職等を派遣し、また、自立支援に資する地域ケア会議の助言者としてもリハビリテーション専門職等を配置しています。					
方向性	住民運営の通いの場にリハビリテーション専門職等を派遣し、地域における介護予防の取組に専門的な視点を加え、質の維持・向上を図っていきます。また、自立支援に資する地域ケア会議にリハビリテーションの専門職からの助言を受けられる体制を整えることにより介護保険サービス利用者の自立支援、重度化防止を支援するケアマネジメントを実践していきます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
住民運営の通いの場への派遣延べ件数(件)	38	87	63	40	40	40
自立支援型地域ケア会議助言者配置延べ件数(件)	14	18	18	18	18	18

経過	令和5年度 (実績)	住民自らが運営する運動教室「はすぴい元気体操」に、活動支援として理学療法士を派遣した。また、自立支援に資する介護予防ケアマネジメント支援のための地域ケア会議に理学療法士、作業療法士から支援を受けた。
	令和6年度 (実績)	住民自らが運営する運動教室「はすぴい元気体操」に、活動支援として理学療法士を派遣した。また、自立支援に資する介護予防ケアマネジメント支援のための地域ケア会議に理学療法士、作業療法士から支援を受けた。
	令和7年度 (実績)	住民自らが運営する運動教室「はすぴい元気体操」に、活動支援として理学療法士を派遣した。また、自立支援に資する介護予防ケアマネジメント支援のための地域ケア会議に理学療法士、作業療法士から支援を受けた。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
住民運営の通いの場への派遣延べ件数(件)	69	69	
自立支援型地域ケア会議助言者配置延べ件数(件)	18	17	

2 包括的支援事業

(1) 地域包括支援センターの運営

事業名	① 地域包括支援センターの運営			担当	長寿支援課	
概要と現状	地域包括支援センターは、日常生活圏域(3圏域)ごとに設置し、包括的支援事業(介護予防ケアマネジメント、総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援、地域ケア会議、生活支援体制整備事業等)の実施機関として、適正な事業運営を行います。 3圏域の地域包括支援センターで連携し、統一された総合相談窓口として、地域包括ケアの中核機関の役割を果たします。					
方向性	地域包括支援センターの人員基準を遵守し、地域包括ケアの中核機関としての機能強化を図ります。また、地域包括支援センターについて、身近な相談窓口として、より多くの方に周知されるよう普及に努めます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
センター設置数(か所)	3	3	3	3	3	3

経過	令和5年度 (実績)	地域包括支援センターを日常生活圏域ごと市内3か所に設置し、運営することで、高齢者がより身近な場所で相談支援を受けられる体制を継続した。3か所の地域包括支援センターが連携し、統一された運営を行っていけるよう定期的な会議や研修会を行った。9月のアルツハイマー月間と合わせて地域包括支援センターについて広報誌に掲載し、高齢者の総合相談窓口であることを案内。またホームページへの掲載や相談窓口等でパンフレットを配布し、地域包括支援センターの周知を図った。
	令和6年度 (実績)	地域包括支援センターを日常生活圏域ごと市内3か所に設置し、運営することで、高齢者がより身近な場所で相談支援を受けられる体制を継続した。3か所の地域包括支援センターが連携し、統一された運営を行っていけるよう定期的な会議や研修会を行った。9月のアルツハイマー月間と合わせて地域包括支援センターについて広報誌に掲載し、高齢者の総合相談窓口であることを案内。またホームページへの掲載や相談窓口等でパンフレットを配布し、地域包括支援センターの周知を図った。
	令和7年度 (実績)	地域包括支援センターを日常生活圏域ごと市内3か所に設置し、運営することで、高齢者がより身近な場所で相談支援を受けられる体制を継続した。3か所の地域包括支援センターが連携し、統一された運営を行っていけるよう定期的な会議や研修会を行った。ホームページへの掲載や市役所市民課窓口等でパンフレットを配布し、地域包括支援センターの周知を図った。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
センター設置数(か所)	3	3	

事業名	② 総合的な相談支援・権利擁護事業 (高齢者虐待の防止と養護者支援)			担当	長寿支援課	
概要と現状	地域包括支援センターにおいて、高齢者やその家族から様々な相談を受けて、必要な支援やサービスにつなげていきます。また、虐待や消費者被害から高齢者を守るため、社会福祉士が中心となって、関係機関との連絡調整、高齢者見守り支援ネットワークの活用、成年後見制度利用などによる支援を行います。 関係機関と連携し高齢者虐待の早期発見・早期対応をめざします。また、養護者に対して必要な支援を行います。					
方向性	高齢者やその家族からの様々な相談に対応できるよう、専門職員のスキルアップを図るとともに、地域の保健、医療、福祉、介護等の様々な関係機関や団体との連携を強化します。また、高齢者が住み慣れた地域で尊厳を保ちながら、安心して社会生活を営むことができるよう、支援体制の充実を図ります。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
センター相談件数(件)	3,667	3,980	4,272	4,000	4,000	4,000

経過	令和5年度 (実績)	地域包括支援センターを日常生活圏域ごと市内3か所に設置し、運営することで、高齢者がより身近な場所で相談支援を受けられる体制を継続した。3か所の地域包括支援センターは、定期的な会議や研修会を通じて、連携しながら機能強化を行った。また、ホームページへの掲載や相談窓口や出前講座等にてパンフレットを配布し、地域包括支援センターの周知を図った。 【相談件数の内訳】 ◇黒浜地域包括支援センター : 1,825件 ◇蓮田地域包括支援センター : 1,287件 ◇関戸・平野地域包括支援センター : 1,160件
	令和6年度 (実績)	地域包括支援センターを日常生活圏域ごと市内3か所に設置し、運営することで、高齢者がより身近な場所で相談支援を受けられる体制を継続した。3か所の地域包括支援センターは、定期的な会議や研修会を通じて、連携しながら機能強化を行った。また、ホームページへの掲載や相談窓口や出前講座等にてパンフレットを配布し、地域包括支援センターの周知を図った。 【相談件数の内訳】 ◇黒浜地域包括支援センター : 2,011件 ◇蓮田地域包括支援センター : 1,465件 ◇関戸・平野地域包括支援センター : 1,071件
	令和7年度 (実績)	地域包括支援センターを日常生活圏域ごと市内3か所に設置し、運営することで、高齢者がより身近な場所で相談支援を受けられる体制を継続した。3か所の地域包括支援センターは、定期的な会議や研修会を通じて、連携しながら機能強化を行った。また、ホームページへの掲載や相談窓口や出前講座等にてパンフレットを配布し、地域包括支援センターの周知を図った。 【相談件数の内訳】 ◇黒浜地域包括支援センター : 1,806件 ◇蓮田地域包括支援センター : 1,568件 ◇関戸・平野地域包括支援センター : 1,182件

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
センター相談件数(件)	4,547	4,556	

事業名	③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業			担当	長寿支援課	
概要と現状	地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域の関係機関の連携体制の構築や、介護支援専門員への後方支援を行います。					
方向性	地域包括支援センターの主任介護支援専門員が中心となって、関係者の連携を図るよう取り組みます。また、介護支援専門員の資質向上をめざした研修会や情報交換等の開催、困難事例への相談・助言を行います。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護支援専門員研修会(回)	2	2	2	2	2	2
延べ参加者数(人)	85	61	80	80	80	80

経過	令和5年度 (実績)	介護支援専門員向けの研修会を2回開催し、延べ80名が参加した。介護支援専門員からの個別相談199件に対応した。
	令和6年度 (実績)	介護支援専門員向けの研修会を3回開催し、延べ105名が参加した。介護支援専門員からの個別相談155件に対応した。
	令和7年度 (実績)	介護支援専門員向けの研修会を3回開催し、延べ124名が参加した。介護支援専門員からの個別相談146件に対応した。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護支援専門員研修会(回)	3	3	
延べ参加者数(人)	105	132	

事業名	④ 地域ケア会議			担当	長寿支援課	
概要と現状	高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすために、自助・互助・共助・公助の適切なコーディネート、及び資源やサービス等の開発により包括的・継続的な支援を行い、地域包括ケアを実現することが求められています。 高齢者個人に対する支援の充実を実現するとともに、地域課題を抽出し、高齢者への支援の土台となる社会基盤の整備を図るための手段のひとつとして地域ケア会議を開催します。					
方向性	地域ケア会議として、多職種協働による自立支援に資するケアマネジメントを支援する会議、地域の課題を抽出し共有する会議及び高齢者を見守るネットワークを構築する会議の3種類の地域ケア会議を開催し、高齢者の尊厳ある主体的な生活を実現できることをめざしていきます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
自立支援に資するケアマネジメント支援会議(回)	7	9	9	9	9	9
地域課題の抽出会議(回)	0	5	5	5	5	5
高齢者見守り支援ネットワーク会議(回)	1	1	1	1	1	1

経過	令和5年度 (実績)	自立支援に資するケアマネジメント支援会議は9回開催し、参加延べ人数は148人。地域課題の抽出会議は、5回開催し、参加延べ人数は142人。高齢者見守り支援ネットワーク会議は、「地域での孤独・孤立の防止 多様な『見守り』」をテーマに、10団体20事業所、52名の参加により開催。
	令和6年度 (実績)	自立支援に資するケアマネジメント支援会議は9回開催し、参加延べ人数は131人。地域課題の抽出会議は、5回開催し、参加延べ人数は114人。高齢者見守り支援ネットワーク会議は、「認知症について考えてみよう」をテーマに講演会、「これからの地域での見守りを考える～さりげない見守りとは～」をテーマにディスカッション・情報交換会を開催し、8団体26事業所、59名参加した。
	令和7年度 (実績)	自立支援に資するケアマネジメント支援会議は9回開催し、参加延べ人数は120人。地域課題の抽出会議は、5回開催し、参加延べ人数は149人。高齢者見守り支援ネットワーク会議は、「つながりがあるってあたたかい 孤独・孤立のない地域をつくるために」をテーマに講演会、「これからの地域での見守りを考える～さりげない見守りとは～」をテーマにディスカッション・情報交換会を開催し、10団体17事業所、46名参加した。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
自立支援に資するケアマネジメント支援会議(回)	9	9	
地域課題の抽出会議(回)	5	5	
高齢者見守り支援ネットワーク会議(回)	1	1	

(2) 在宅医療・介護連携の推進

事業名	① 医療・介護関係者の連携			担当	長寿支援課	
概要と現状	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた場所で自分らしい生活を続けられるために、医療・介護の多職種の連携を強化し、必要な医療、介護が在宅にて提供される体制を整備する必要があります。					
方向性	医療・介護の多職種の連携を強化し、資質向上や情報共有を図るための研修会を開催します。また、課題の把握や対応策の施策化に向けた検討など、医療・介護関係者と協議を行う会議を開催します。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
地域包括ケア推進 代表者会議の開催 (回)	2	2	2	2	2	2
在宅医療・介護関係者 研修会の開催 (回)	3	3	3	3	3	3
在宅医療・介護関係者 研修会の 延べ参加者(人)	89	92	102	100	100	100

経過	令和5年度 (実績)	地域包括ケア推進代表者会議を、2回実施した。出前講座や市民講座を実施するほか、3か所の地域包括支援センターでエンディングノートの配布説明を行った。「在宅医療連携ガイド」を更新し、市ホームページにて公表した。 2市1町の協定に基づく在宅医療・介護関係者研修会は、オンラインにて3回実施した。
	令和6年度 (実績)	地域包括ケア推進代表者会議を、2回実施した。2市1町の協定に基づく在宅医療・介護関係者研修会は、オンラインにて3回実施した。
	令和7年度 (実績)	地域包括ケア推進代表者会議を、2回実施した。2市1町の協定に基づく在宅医療・介護関係者研修会は、オンラインにて3回実施した。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
地域包括ケア推進代表者会議の 開催(回)	2	2	
在宅医療・介護関係者研修会の 開催(回)	3	3	
在宅医療・介護関係者研修会の 延べ参加者(人)	86	63	

事業名	② 日常の療養支援			担当	長寿支援課	
概要と現状	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた場所で生活を続けられるために、必要な医療、介護が在宅にて提供される体制を整備する必要があります。					
方向性	医療・介護サービス資源の調査の実施により、医療・介護ニーズへの対応がどの程度可能であるか把握し、情報を「在宅医療・介護連携ガイド」として作成し、関係者・市民への情報提供を行います。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
在宅医療・介護連携ガイド配布数(件)	167	174	177	175	175	175

経過	令和6年度(実績)	「在宅医療・介護連携ガイド」を更新し、医療・介護の機関および事業所に配布し、市ホームページにて公表した。
	令和7年度(実績)	「在宅医療・介護連携ガイド」を更新し、医療・介護の機関および事業所に配布し、市ホームページにて公表した。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
在宅医療・介護連携ガイド配布数(件)	179	177	

事業名	③ 入退院支援			担当	長寿支援課	
概要と現状	医療と介護の両方を必要とする高齢者が、入退院を繰り返すことなく、望む場所での生活を続けられることをめざします。そのためには、入院と在宅療養の一連の流れの中で、医療・介護の関係者が協働・情報提供を行い、一体的でスムーズなサービス提供が必要です。					
方向性	医療・介護関係者間での入退院支援ルールの活用を広め、住民に「通院・入院時あんしんセット」の周知・普及を図ります。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
入退院支援ルールを活用した事業所数(か所)	—	—	—	50	60	70

経過	令和6年度 (実績)	市内事業所から市民のかたへ「通院・入院時あんしんセット」の準備を案内する、入退院の際医療介護関係者が情報共有を行うなど、入退院時にスムーズなサービス提供が行えるよう周知・普及に努めた。
	令和7年度 (実績)	老人クラブ会員および市内事業所が必要と判断したかたへ「通院・入院時あんしんセットポーチ」を活用し、入退院時にスムーズなサービス提供が行えるよう周知・普及に努めた。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
入退院支援ルールを活用した事業所数(か所)	50	50	

事業名	④ 急変時の対応			担当	長寿支援課	
概要と現状	在宅で療養生活を送る高齢者の急変時にも、本人の意思が尊重された適切な対応が行われることをめざします。そのためには、医療・介護・消防の連携による、本人の意向の共有が図られる必要があります。					
方向性	急変時の連携体制について現状を把握し課題を共有するための、医療・介護・消防関係者による情報交換会等、連携強化に取り組みます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
情報交換会等の開催(回)	—	—	—	1	1	1

経過	令和6年度 (実績)	急変時等課題共有にかかる情報交換会を1回開催した。在宅医療介護関係者に出席いただき、「急変時」や「急変時の困りごとや問題と感じていること」について情報共有を行った。
	令和7年度 (実績)	急変時等課題共有にかかる情報交換会を1回開催した。在宅医療介護関係者に出席いただき、「市民が『急変時』について考えるきっかけをつくるために、医療介護関係者はどのようにしたらよいか」について、意見交換を行った。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
情報交換会等の開催(回)	1	1	

事業名	⑤ 看取り			担当	長寿支援課	
概要と現状	医療と介護の両方を必要とする高齢者が、人生の最終段階においても意思が尊重され、望む場所で最期を迎えられることをめざします。そのためには、住民が医療や介護の意思決定や、在宅での看取りが可能であることについて認識・理解を深め、医療・介護関係者が本人や家族と人生の最終段階における意思を共有することが必要です。					
方向性	地域住民が在宅での医療、看取りについての認識・理解を深められるように、在宅医療・介護についての講座の開催や、蓮田市エンディングノートを活用した意思決定支援、ACPの普及啓発に取り組みます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
在宅医療と介護の市民講座延べ参加者数(人)	88	95	119	100	100	100
蓮田市エンディングノート配布と説明会参加者数(人)	171	142	48	100	100	100
ACP普及啓発講座の参加者数(人)	—	—	—	80	80	80

経過	令和6年度 (実績)	市民対象の講座を開催した。在宅医療介護について普及啓発するとともに、人生の最終段階における意思決定支援として、ACPの普及啓発や蓮田市エンディングノートの配布・活用支援を行った。
	令和7年度 (実績)	市民対象の講座を開催した。在宅医療介護について普及啓発するとともに、人生の最終段階における意思決定支援として、ACPの普及啓発や蓮田市エンディングノートの配布・活用支援を行った。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
在宅医療と介護の市民講座延べ参加者数(人)	58	33	
蓮田市エンディングノート配布と説明会参加者数(人)	161	79	
ACP普及啓発講座の参加者数(人)	92	86	

(3) 認知症施策の推進

事業名	① 認知症初期集中支援推進事業			担当	長寿支援課	
概要と現状	認知症は、早期からの適切な診断や対応が必要であることから、医療と介護の専門職で構成する「認知症初期集中支援チーム」を設置し、認知症の初期段階で認知症の人やその家族に対して自宅訪問を行い、医療や介護のサービスにつなげる等の個別支援を行います。					
方向性	「認知症初期集中支援チーム」を継続して設置し、事業の周知普及を図りながら、認知症の人や家族への早期相談対応に努めていきます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認知症初期集中支援チームの設置(か所)	1	1	1	1	1	1
認知症初期集中支援チーム支援件数(件)	15	11	6	15	15	15

経過	令和5年度 (実績)	認知症初期集中支援チームは蓮田よつば病院に委託して1チーム設置し、支援件数は6件、訪問回数は9回。
	令和6年度 (実績)	認知症初期集中支援チームは蓮田よつば病院に委託して1チーム設置し、支援件数は7件、訪問回数は8回。
	令和7年度 (実績)	認知症初期集中支援チームは蓮田よつば病院に委託して1チーム設置し、支援件数は5件、訪問回数は10回。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認知症初期集中支援チームの設置(か所)	1	1	
認知症初期集中支援チーム支援件数(件)	7	5	

事業名	② 認知症地域支援・ケア向上事業			担当	長寿支援課	
概要と現状	認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けるためには、認知症のケア向上を図るための取組を推進することが重要となります。そのため、医療機関や介護サービス等の支援機関の連携を図り、認知症の人やその家族を支援する相談業務を行う地域支援推進員を各地域包括支援センターに配置しています。認知症の人への支援として、認知症の人本人の意見を把握し、本人の視点を反映することが求められており、その具体的な取組について地域支援推進員同士で検討を行い、施策の充実をめざします。					
方向性	地域支援推進員を地域包括支援センターごとに配置し、地域の支援機関の連携体制を構築し、認知症の人や家族への相談支援の充足を図ります。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認知症地域支援推進員の配置(人)	4	5	6	6	6	6

経過	令和5年度 (実績)	地域支援推進員は3か所の地域包括支援センターにそれぞれ配置。基幹型である黒浜地域包括支援センターに1名増員、委託地域包括支援センターに1名増員し、対応した。また、認知症ケアパスの情報を更新し、医療機関やケアの情報を本人、家族へ提供した。
	令和6年度 (実績)	地域支援推進員は3か所の地域包括支援センターにそれぞれ配置。基幹型である黒浜地域包括支援センターに1名増員、委託地域包括支援センターに2名増員し、対応した。また、認知症ケアパスの情報を更新し、医療機関やケアの情報を本人、家族へ提供した。
	令和7年度 (実績)	地域支援推進員は3か所の地域包括支援センターにそれぞれ配置。基幹型である黒浜地域包括支援センターに1名増員、委託地域包括支援センターに2名増員し、対応した。また、認知症ケアパスの情報を更新し、医療機関やケアの情報を本人、家族へ提供した。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認知症地域支援推進員の配置(人)	10	13	

事業名	③ 認知症高齢者等を介護する家族への支援			担当	長寿支援課	
概要と現状	認知症高齢者等の介護をする家族(ケアラー)が、介護の悩みを相談し合い、情報の交換や共有を行うことで、介護の負担を少しでも和らげるよう、認知症の人を介護する家族のつどいを開催し、家族同士の交流の機会を提供します。					
方向性	家族のつどいの開催については、広報やホームページ、相談窓口、介護支援専門員や民生委員の集まり等を通じて広く周知し、できるだけ多くの家族同士が定期的、継続的に交流できることをめざします。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
家族のつどい開催(回)	5	6	6	6	6	6
延べ参加者数(人)	38	35	44	40	40	40

経過	令和5年度 (実績)	認知症の人を介護する家族同士が集い、情報交換や勉強会をすることで介護の負担軽減を図る場とするため、年6回定例で開催。参加延べ人数は44名であった。
	令和6年度 (実績)	認知症の人を介護する家族同士が集い、情報交換や勉強会をすることで介護の負担軽減を図る場とするため、年5回定例で開催。参加延べ人数は48名であった。
	令和7年度 (実績)	認知症の人を介護する家族同士が集い、情報交換や勉強会をすることで介護の負担軽減を図る場とするため、年6回定例で開催。参加延べ人数は43名であった。今年度は認知症施策推進計画策定にあたり、参加者からヒアリングを行った。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
家族のつどい開催(回)	5	6	
延べ参加者数(人)	48	43	

(4) 生活支援サービスの体制整備

事業名	① 生活支援体制整備事業	担当	長寿支援課			
概要と現状	支援を必要とする高齢者を地域で支えるために、生活支援コーディネーターを配置し、協議体を活用しながら、住民同士がつながり、支え合う地域づくりをめざした体制整備が必要です。 協議体では、高齢者の生活を支える団体等が情報を共有し、連携して地域の支え合いの体制づくりを進めています。また、生活支援コーディネーターと協議体の協働により、社会資源の情報誌を作成するなど、気軽につどい、支え合える地域づくりを推進しています。					
方向性	生活支援コーディネーターを配置し、地域の状況や課題の把握、生活支援の担い手の養成、サービス等の開発、関係者間のネットワーク構築に取り組んでいきます。 生活支援コーディネーターは、市全域を支援する第1層コーディネーター1名と、中学校地区(全5地区)ごとに支援する第2層コーディネーター各1名、合計6名を配置して推進します。 また、就労的活動支援コーディネーターの配置等、就労や社会参加の意欲が高い高齢者への支援のあり方を検討します。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
協議体の設置 (か所)	6	6	6	6	6	6
生活支援コーディネーターの配置 (人)	6	6	6	6	6	6

経過	令和5年度(実績)	蓮田市協議体を3回開催し、「配達・訪問サービス便利帳」の改訂版を発行した。地区協議体は各地区7回程度開催した。シニア向けスマホ体験講座「入門編」「LINE編」「ネットショッピング編」を黒浜、蓮田、関戸平野の3圏域、全4回19日開催し、延べ285名のかたにご参加いただいた。
	令和6年度(実績)	第1層協議体では、アンケート調査やシニア向けスマホ体験講座を全4か所22回開催し、延べ422名のかたにご参加いただいた。第2層協議体は、5地区から6地区へ再編し設置。各地区9回程度開催した。
	令和7年度(実績)	第1層協議体では、高齢者いきいきマップ更新および地域の移動支援にかかる情報収集や、シニア向けスマホ体験講座、スマホサポーター養成講座を開催した。第2層協議体では、6か所の地区協議体にて、地区特性に応じた事業を展開している。

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
協議体の設置(か所)	7	7	
生活支援コーディネーターの配置(人)	8	8	

3 任意事業

(1) 介護給付適正化事業

事業名	① 介護給付適正化事業	担当	長寿支援課
概要と現状	介護給付の適正化は、介護サービスを必要とする人を適正に認定し、適切なケアマネジメントにより利用者が真に必要なサービスを見極め、事業者がルールに従って適正なサービスを提供するよう促すことです。 適切なサービスの確保とその結果としての費用の効率化を通じて、持続可能な介護保険制度の構築のため、介護給付適正化事業を実施しています。		
方向性	国が示した「第6期介護給付適正化計画に関する指針」及び「埼玉県第6期介護給付適正化計画」に基づき、介護給付適正化に向けた主要事業の取組を継続します。 ・ケアプラン点検 ・要介護認定の適正化 ・医療情報との突合・縦覧点検		

経過	令和5年度 (実績)	要介護認定については、引き続き市が認定調査を行い、職員が全件チェックしている。 ケアプラン点検は令和6年1月に実施し、8件の点検を行った。 住宅改修・福祉用具については、申請ごとに、事前審査及び実施後の確認を行った。 介護給付費や制度周知の通知を年2回実施した。
	令和6年度 (実績)	要介護認定については、更新及び区分変更申請は市内・市外の居宅介護支援事業所に認定調査の委託を年間で合計411件委託をし、新規を含めたその他2,065件を市の会計年度任用職員が調査を行った。チェックは、職員及び会計年度任用職員が全件チェックした。 ケアプラン点検は令和7年1月に実施し、8件の点検を行った。 住宅改修・福祉用具については、申請ごとに、事前審査及び実施後の確認を行った。 介護給付費や制度周知の通知を年2回実施した。
	令和7年度 (実績)	要介護認定については、引き続き市が認定調査を行い、職員が全件チェックしている。 ケアプラン点検は令和8年1月を中心に実施し、また、運営指導対象となっている事業所は、その際に実施し、計8件の点検を行った。 住宅改修・福祉用具については、申請ごとに、事前審査及び実施後の確認を行った。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

(2) 家族介護支援事業

事業名	① 認知症高齢者等見守り事業	担当	長寿支援課・ 長寿支援課
概要と現状	徘徊高齢者等の現在位置を探索するための端末機器及び付属品を家族等に貸し出すことや、身元の特定につながるシール等の配布により、徘徊高齢者等の早期保護と身元の判明を図るとともに、認知症高齢者等を在宅で介護している家族の身体的、精神的負担の軽減を図ります。		
方向性	認知症高齢者等を在宅で介護している家族の身体的、精神的負担の軽減を図るとともに、事業の周知にも努めていきます。また、家族等から利用状況や意見を伺いながら、より活用しやすい事業になるように検討していきます。		

経過	令和5年度 (実績)	位置探索の端末機器貸出事業の相談が数件あったほか、1件の新規利用があった。昨年同様、サービス内容について、民生委員の研修会や住民対象の介護教室等で周知した。引き続き周知を図り、利用促進する。(長寿支援課) 「蓮田市見守りシール等配布事業」の周知は広報・ホームページのほか、窓口や電話での相談の際に案内し、9名の利用につながった。今後も引き続き周知を図り、利用を促進する。(長寿支援課)
	令和6年度 (実績)	位置探索の端末機器貸出事業の申請が1件あったが、新規利用までは繋がらなかった。昨年同様、サービス内容について出前講座や居宅介護支援事業所会議等で周知した。引き続き周知を図り、必要な方への利用促進をする。(長寿支援課) 「蓮田市見守りシール等配布事業」の周知は広報・ホームページのほか、窓口や電話での相談の際に案内し、11名の利用につながった。今後も引き続き周知を図り、利用を促進する。(長寿支援課)
	令和7年度 (実績)	相談は数件あったが、新規利用には繋がらなかった。サービス内容について出前講座や居宅介護支援事業所会議等で周知した。引き続き周知を図り、必要な方への利用促進をする。(長寿支援課) 「蓮田市見守りシール等配布事業」は、広報・ホームページによる周知のほか、窓口や電話での相談にて案内し、18名の利用につながった。(長寿支援課)

現状の評価	番号	1	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

(3) その他の事業

事業名	① 成年後見制度利用支援事業(P36 再掲)			担当	長寿支援課	
概要と現状	認知症等により事理弁識能力が不十分で、かつ支援を行う 2 親等内の親族がいないなどの理由により、財産管理や身上監護など必要な保護が図れない高齢者の権利擁護のため、成年後見制度の利用支援を行います。 支援の内容は、家庭裁判所への成年後見等審判開始の市長申し立て、及び同申し立てにより後見人等が選任された対象者のうち、経済的困窮者への後見人等の報酬を助成しています。					
方向性	高齢者人口の増加と平均寿命の伸長により、認知症高齢者の数も増えていくことが予想されるため、今後も事業を推進していきます。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
市長申立利用者数(人)	1	3	2	1	1	1
後見人等報酬助成者数(人)	0	0	0	2	3	4

経過	令和5年度 (実績)	身上監護を行う親族がいない2人に対して、候補者をさいたま家庭裁判所に一任する市長申立を行い、司法書士を後見人とする審判を受けた。引き続き高齢者の権利擁護の推進に努めた。
	令和6年度 (実績)	身上監護を行う親族がいない2人に対して、蓮田市社会福祉協議会を候補者として成年後見の市長申立を行い、蓮田市社会福祉協議会を後見人とする審判を受けた。引き続き高齢者の権利擁護を推進した。
	令和7年度 (実績)	身上監護を行う親族がいない1人に対して、候補者をさいたま家庭裁判所に一任する市長申立を行い、審判を受ける前に対象者が亡くなった。引き続き高齢者の権利擁護を推進した。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
市長申立利用者数(人)	2	1	
後見人等報酬助成者数(人)	0	0	

事業名	② 認知症サポーター養成事業			担当	長寿支援課	
概要と現状	認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り支援する「認知症サポーター」を多数養成するため、「認知症サポーター養成講座」を開催しています。					
方向性	認知症サポーターの養成は、受講者を募集して開催する講座と、市民グループや企業、学校等からの要請により随時開催する講座にて実施します。認知症サポーターを幅広い年代にて養成し、今後ますます増加する認知症高齢者の生活を地域で支えていくことをめざします。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認知症サポーター養成講座 講座開催数(回)	12	14	8	15	15	15
認知症サポーター養成講座 延べ参加者数(人)	444	759	417	500	500	500

経過	令和5年度 (実績)	認知症サポーター養成講座を年間8回開催し、417人のサポーターを養成した。その内、学校からの要請で開催した講座は、小学校3校で開催し、180人が受講、中学校は1校で開催し、79人が受講した。また、市民向けの講座として広く参加者を募り開催し、27人が受講した。
	令和6年度 (実績)	認知症サポーター養成講座を年間7回開催し、308人のサポーターを養成した。その内、学校からの要請で開催した講座は、小学校4校で開催し、223人が受講した。また、市民向けの講座として広く参加者を募り開催し、33人が受講した。
	令和7年度 (実績)	認知症サポーター養成講座を年間10回開催し、504人のサポーターを養成した。その内、学校からの要請で開催した講座は、小中学校4校、高等学校1校で開催し、379人が受講した。また、市民向けの講座として広く参加者を募り開催し、59人が受講した。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認知症サポーター養成講座 講座開催数(回)	7	10	
認知症サポーター養成講座 延べ参加者数(人)	308	504	

事業名	③ 配食サービス事業(P26 再掲)			担当	長寿支援課	
概要と現状	身体的・精神的理由により自ら調理を行うことができないひとり暮らし高齢者等に、高齢者用に調理された昼食を配達することで、高齢者の見守り(安否確認)と栄養改善を図っています。					
方向性	高齢者人口の増加と世帯形態の変化により、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、日中独居の高齢者が増加しています。高齢者の安否確認と栄養改善を目的に、今後も継続して事業を実施します。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
配食サービス事業 利用実人員(人)	50	43	45	60	60	60
配食サービス事業 延べ配食数(食)	4,400	4,181	4786	5,000	5,000	5,000

経過	令和5年度 (実績)	前年度から配食数・利用者人数が増加し、順調に事業が進行している。これからも高齢者の安否確認と栄養改善を目的に、引き続き周知を行い、必要な方へサービスを提供していく。
	令和6年度 (実績)	前年度から配食数・利用者人数が減少しているが、順調に事業は進行している。これからも高齢者の安否確認と栄養改善を目的に、引き続き周知を行い、必要な方へサービスを提供していく。
	令和7年度 (実績)	順調に事業は進行している。これからも高齢者の安否確認と栄養改善を目的に、引き続き周知を行い、必要な方へサービスを提供していく。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
配食サービス事業利用実人員(人)	42	43	
配食サービス事業延べ配食数(食)	4,218	4,112	

事業名	④ 介護相談員派遣事業			担当	長寿支援課	
概要と現状	サービス利用者の苦情や不満の解消及びサービスの改善を図るため、介護相談員派遣事業を推進しています。					
方向性	引き続き、介護相談員を施設系事業所へ派遣し、施設入居者の相談・苦情等への対応を図ります。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
施設への派遣回数 (回)	0	19	39	36	36	36

経過	令和5年度 (実績)	介護相談員を4名委嘱し、施設訪問は39回実施した。訪問先施設では、利用者や施設職員から話を聴くことにより、問題の改善や介護サービスの質の向上に寄与している。
	令和6年度 (実績)	介護相談員を4名委嘱し、施設訪問は28回実施した。訪問先施設では、利用者や施設職員から話を聴くことにより、問題の改善や介護サービスの質の向上に寄与している。
	令和7年度 (実績)	介護相談員を3名委嘱し、施設訪問は32回実施した。訪問先施設では、利用者や施設職員から話を聴くことにより、問題の改善や介護サービスの質の向上に寄与している。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
施設への派遣回数(回)	28	32	

事業名	⑤ 住宅改修理由書作成支援事業			担当	長寿支援課	
概要と現状	居宅介護支援事業者等が、居宅介護支援の提供を受けていない被保険者を対象に、住宅改修の理由書を作成することに対し、手数料を援助しています。					
方向性	引き続き、住宅改修理由書作成のための支援を行います。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実施件数(件)	4	5	3	12	12	12

経過	令和5年度 (実績)	居宅介護支援の提供を受けていない利用者の住宅改修理由書作成を行った事業者からの申請は2件であった。
	令和6年度 (実績)	居宅介護支援の提供を受けていない利用者の住宅改修理由書作成を行った事業者からの申請は6件であった。
	令和7年度 (実績)	居宅介護支援の提供を受けていない利用者の住宅改修理由書作成を行った事業者からの申請はなかった。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実施件数(件)	6	0	

第4節 介護保険制度の円滑な運営

1 基盤整備の方針

事業名	基盤整備の方針	担当	長寿支援課
概要と現状	本市においては、身近で住み慣れた地域において介護サービスが受けられるよう、日常生活圏域を考慮した基盤整備を進める必要があります。 そのため、3圏域のバランスを考慮した基盤整備を進め、加えて、高齢者人口等の状況を踏まえ、適切な施設整備に努めています。		
方向性	本市では、介護保険施設等のサービスの基盤整備について、既存施設の整備意向や入所待機者の状況、地域の事業所整備状況等を踏まえ、保険者として適正に介護保険事業を運営できるように、計画的にサービス基盤整備を行います。 第9期計画期間においては、施設の入居等の現状を踏まえ、追加の施設整備を公募するか検討しています。 なお、本市では未整備・未実施のサービスも含め、引き続き県との調整を図り、利用ニーズに対し、適切なサービス提供体制の整備に努めます。		

■施設・居住系サービス

区分	第8期計画・整備実績			第9期計画・予定		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護老人福祉施設	—	—	1施設（定員100人）	—	—	—

■地域密着型サービス

区分	第8期計画・整備実績			第9期計画・予定		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認知症対応型共同生活介護	—	1施設（2ユニット）	—	—	—	—

経過	令和5年度（実績）	該当年度内に、住宅型有料老人ホームが1か所開設した。サービス付き高齢者住宅については、開設に向けての相談を受けた。
	令和6年度（実績）	該当年度内に、サービス付き高齢者向け住宅が1か所開設した。別件でサービス付き高齢者住宅及び有料老人ホームの開設に向けての相談をそれぞれ1件受けた。
	令和7年度（実績）	該当年度内に、住宅型有料老人ホームが1か所開設した。別件でサービス付き高齢者住宅の開設に向けての相談を受けている。 前年度、認知症対応型共同生活介護の1事業所が事業廃止をすることを受け、事業継承を受けた別法人が令和8年度の事業所開設に向けて、相談を受けた。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

区分	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護老人福祉施設	0	0	
認知症対応型共同生活介護	0	0	

2 介護給付適正化の方針（蓮田市介護給付適正化計画）

■主要3事業の概要

ケアプラン点検	ケアプランが適切なものであるかをケアマネジャーとともに検証し、健全な給付の実施を図るため、ケアプラン点検を実施します。 住宅改修等においては、事前申請時の書面審査だけでなく、必要に応じて訪問調査を実施し、利用者の実情を確認した上で給付の決定を行います。					
要介護認定の適正化	認定調査結果については、直営分も含め全件の点検を行います。また、認定調査員の資質向上を目的とした研修等を行います。					
医療情報との突合・縦覧点検	埼玉県国民健康保険団体連合会からの医療情報と介護情報を基に、サービスの整合性や算定日数等の情報を点検し、誤請求や重複請求があった場合は、事業所へ過誤申立等の指導を行います。					
指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
ケアプラン点検(件)	8	8	8	8	8	8
重複請求縦覧点検(件)	76	52	50	50	50	50

経過	令和6年度 (実績)	主要3事業については、前年度と同水準で実施し、認定調査結果の点検や縦覧点検について、全件チェックを行った。
	令和7年度 (実績)	主要3事業については、前年度と同水準で実施し、認定調査結果の点検や縦覧点検について、全件チェックを行った。

現状の評価	番号	2	1.十分できた	2.概ねできた	3.あまりできなかった	4.できなかった
-------	----	---	---------	---------	-------------	----------

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
ケアプラン点検(件)	8	8	
重複請求縦覧点検(件)	59	35	

4 自立支援・重度化防止に向けた保険者機能の強化

④ 自立支援及び重度化防止等施策の目標設定と達成状況の評価

■ストラクチャー指標

サービス提供 事業所数	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
訪問リハビリテーション(か所)	2	3	3	3	3	3
通所リハビリテーション(か所)	2	2	2	2	2	2
介護老人保健施設(か所)	2	2	2	2	2	2

※ 介護保険における介護サービスを提供する施設や事業所の物的資源、人的資源、地域の状態像等を表す指標。

※ 事業所数は、年度中に1回以上サービス提供実績のある市内の施設・事業所数。

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
訪問リハビリテーション(か所)	3	3	
通所リハビリテーション(か所)	2	2	
介護老人保健施設(か所)	2	2	

■プロセス指標

サービス提供 事業所利用率	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
訪問リハビリテーション(%)	2.83	3.26	3.36	3.49	3.53	3.57
通所リハビリテーション(%)	12.98	12.16	12.17	12.16	11.97	12.03
介護老人保健施設(%)	6.42	6.08	5.97	5.50	5.34	5.19

※ 介護サービス提供施設や居宅介護支援事業所との連携、事業所の活動、事業所や施設間の連携体制を測る指標。

※ 「利用率」は、サービス受給者数の最新月までの総和を認定者数で除した後、当該年度の月数で除した数。

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
訪問リハビリテーション(%)	3.16	2.71	
通所リハビリテーション(%)	11.90	11.00	
介護老人保健施設(%)	5.60	5.99	

④ 自立支援及び重度化防止等施策の目標設定と達成状況の評価

■高齢者の自立支援及び重度化防止に関する目標

指標	実績値			計画値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防事業の参加率(%)	4	4.9	5	5	5	5
自立支援型地域ケア会議検討延べ件数(件)	20	19	20	20	20	20

指標	実績値		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防事業の参加率(%)	6.2	6.7	
自立支援型地域ケア会議検討延べ件数(件)	27	27	